

富野まちづくりアンケート

結果報告書

平成27年8月

「富野地域委員会」準備委員会

富野まちづくりアンケート結果

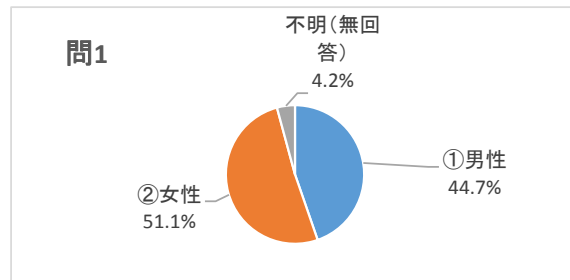
概 要

- 調査目的 私たちが暮らす”富野”をいつまでも安心して住み続けられる地域にするため、住民主体による地域づくりを目指しています。
そこで、地域づくりを進めるためには、まず住民の声をお聞きし、地域の課題を見つけることが重要です。皆さんが日ごろ考えていることやご意見を聞くためにアンケートを行いました。
- 調査主体 富野地域委員会準備会（事務局：富野まちづくり委員会）
- 調査期間 平成27年1月29日から2月4日まで
- 調査対象 富野地区の自治会加入世帯の中から、市役所が無作為に選び出した16歳以上の1,000人
- 実施方法 自治会を通じて配布及び回収、富野地域委員会準備会で集計及び分析
- 有効回収数 867通（回収率 86.7%）
※富野地区の全住民（2,060人）の42.1%

あなた自身についてお聞きします

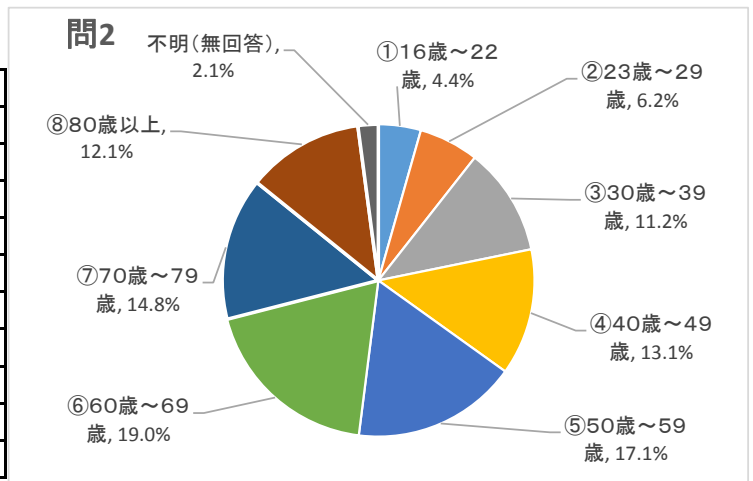
問1 あなたの性別はどちらですか。

性 別	回答数	割合
①男性	388	44.7%
②女性	443	51.1%
不明（無回答）	36	4.2%
合計	867	100.0%



問2 あなたの年齢は満何歳ですか。

年齢区分	回答数	割合
①16歳～22歳	38	4.4%
②23歳～29歳	54	6.2%
③30歳～39歳	97	11.2%
④40歳～49歳	114	13.1%
⑤50歳～59歳	148	17.1%
⑥60歳～69歳	165	19.0%
⑦70歳～79歳	128	14.8%
⑧80歳以上	105	12.1%
不明（無回答）	18	2.1%
合計	867	100.0%



○アンケートの回答者年齢は、「60歳～69歳」が19.0%と一番多く、次いで「50～59歳」が17.1%、「70歳～79歳」が14.8%と多くなっています。

【参考】富野地区の住民基本台帳人口 年齢別（平成26年12月1日現在）

年齢区分	人数	割合
16歳～22歳	126	7.0%
23歳～29歳	138	7.6%
30歳～39歳	203	11.2%
40歳～49歳	245	13.6%
50歳～59歳	272	15.0%
60歳～69歳	331	18.3%
70歳～79歳	244	13.5%
80歳以上	250	13.8%
合計	1,809	100.0%

問3 あなたがお住まいの地区はどこですか。

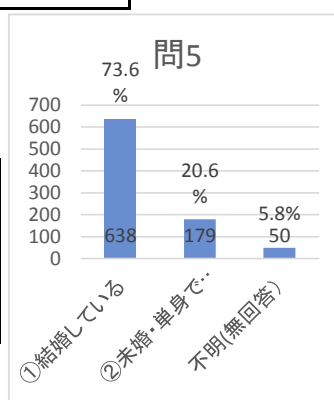
項 目	回答数	割 合
①西神野	145	16.7%
②神野	310	35.8%
③上大野	88	10.1%
④志津野	210	24.2%
⑤小野	96	11.1%
不明(無回答)	18	2.1%
合計	867	100.0%

問4 あなたの世帯はどのような形態ですか。

項 目	回答数	割 合
①単身世帯	50	5.8%
②夫婦のみの世帯	113	13.0%
③2世代の世帯(夫婦と子ども、夫婦と親など)	388	44.7%
④3世代の世帯	265	30.6%
⑤その他	18	2.1%
不明(無回答)	33	3.8%
合 計	867	100.0%

問5 あなたは既婚ですか・未婚ですか。

項 目	回答数	割 合
①結婚している	638	73.6%
②未婚・単身である	179	20.6%
不明(無回答)	50	5.8%
合計	867	100.0%



問5【年齢別×既婚ですか・未婚ですか】

区 分		①結婚している		②未婚・単身である		不明(無回答)		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
①② 16歳～29歳まで	男性	5	13.2%	33	86.8%	0	0.0%	38	42.2%
	女性	9	17.3%	43	82.7%	0	0.0%	52	57.8%
③ 30歳～39歳まで	男性	24	66.7%	11	30.5%	1	2.8%	36	37.9%
	女性	42	71.2%	17	28.8%	0	0.0%	59	62.1%
④ 40歳～49歳まで	男性	43	71.7%	16	26.6%	1	1.7%	60	53.1%
	女性	47	88.7%	6	11.3%	0	0.0%	53	46.9%
⑤ 50歳～59歳まで	男性	61	80.3%	14	18.4%	1	1.3%	76	51.4%
	女性	67	93.1%	5	6.9%	0	0.0%	72	48.6%
⑥ 60歳～69歳まで	男性	68	87.2%	8	10.2%	2	2.6%	78	47.6%
	女性	82	95.3%	3	3.5%	1	1.2%	86	52.4%
⑦ 70歳～79歳まで	男性	51	91.1%	5	8.9%	0	0.0%	56	46.3%
	女性	49	75.4%	8	12.3%	8	12.3%	65	53.7%
⑧ 80歳以上	男性	37	90.2%	0	0.0%	4	9.8%	41	43.2%
	女性	39	72.2%	5	9.3%	10	18.5%	54	56.8%
不明(無回答)		10	47.6%	5	23.8%	6	28.6%	21	100.0%
合計		634	74.9%	179	21.1%	34	4.0%	847	100.0%

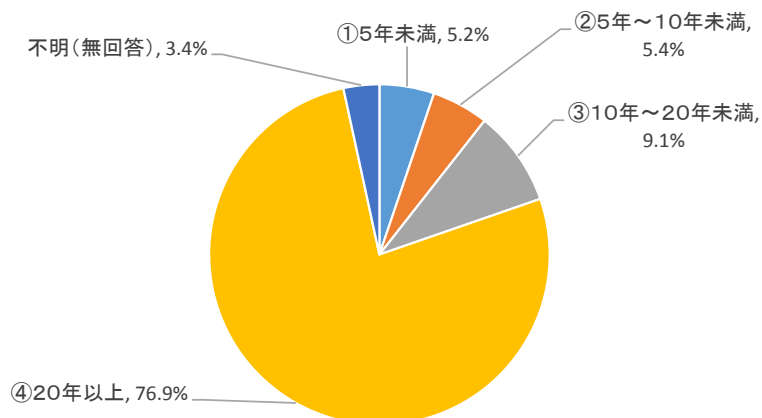
問6 あなたの職業は何ですか。

項 目	回答数	割 合
①自営業、事業主	70	8.1%
②勤め人(会社員など)	223	25.7%
③公務員、団体職員	51	5.9%
④農業	60	6.9%
⑤パート・アルバイト	118	13.7%
⑥主に家事・育児	70	8.1%
⑦学生	22	2.5%
⑧無職	209	24.1%
⑨その他	9	1.0%
不明(無回答)	35	4.0%
合 計	867	100.0%

問7 あなたは富野地域に住んで何年ですか。

項 目	回答数	割 合
①5年未満	45	5.2%
②5年～10年未満	47	5.4%
③10年～20年未満	79	9.1%
④20年以上	667	76.9%
不明(無回答)	29	3.4%
合 計	867	100.0%

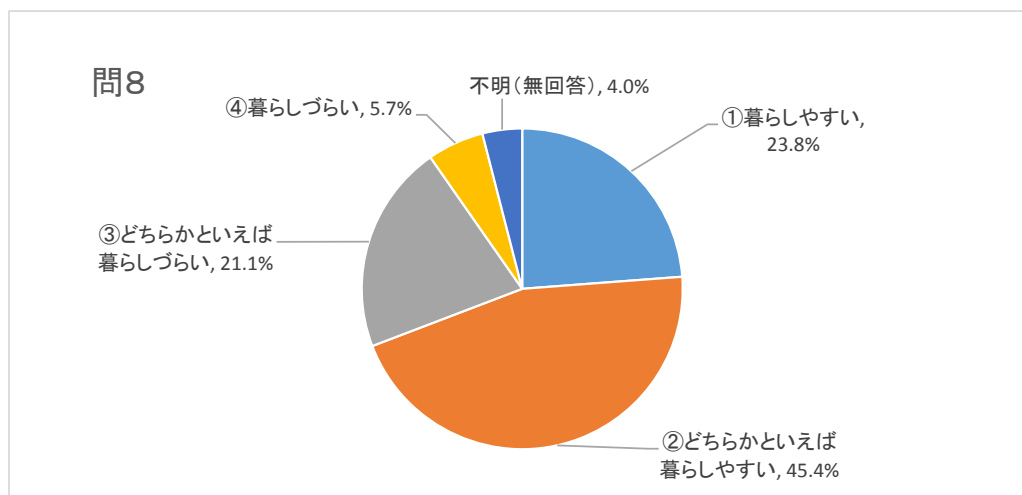
問7



暮らしについてお聞きします

問8 あなたにとって富野地区は暮らしやすいですか。 <1つに○印>

項 目	回答数	割 合
①暮らしやすい	206	23.8%
②どちらかといえば暮らしやすい	394	45.4%
③どちらかといえば暮らしづらい	183	21.1%
④暮らしづらい	49	5.7%
不明(無回答)	35	4.0%
合計	867	100.0%



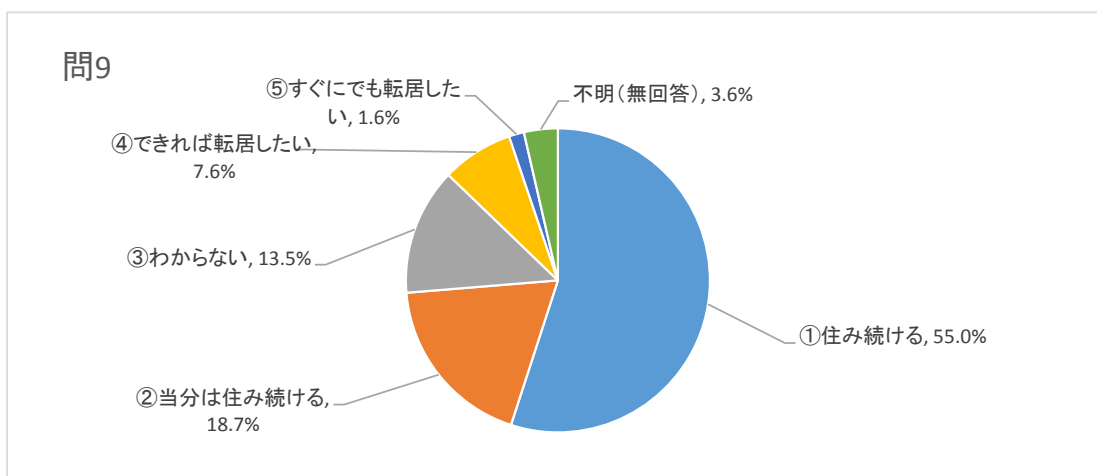
【年齢別×あなたにとって富野地区は暮らしやすいですか】

区 分	①暮らしやすい	②どちらかといえば暮らしやすい	③どちらかといえば暮らしにくい	④暮らしづらい	不明(無回答)	合計	暮らしやすい (①+②)	暮らしづらい (③+④)
①② 16歳～29歳まで	11	42	28	10	1	92	57.6%	41.3%
③ 30歳～39歳まで	17	45	22	11	2	97	63.9%	34.0%
④ 40歳～49歳まで	21	47	35	10	1	114	59.6%	39.5%
⑤ 50歳～59歳まで	31	68	40	7	1	147	67.3%	32.0%
⑥ 60歳～69歳まで	44	79	33	4	5	165	74.6%	22.4%
⑦ 70歳～79歳まで	39	71	11	3	4	128	86.0%	10.9%
⑧ 80歳以上	42	40	13	4	6	105	78.1%	16.2%

○回答では、暮らしやすい割合が多い。特に年齢別でみると年齢が高くなるほど暮らしやすい人の割合が高くなっている。

問9 あなたは、富野地区にこれからも住み続けたいと思いますか。 <1つに○印>

項 目	回答数	割 合
①住み続ける	477	55.0%
②当分は住み続ける	162	18.7%
③わからない	117	13.5%
④できれば転居したい	66	7.6%
⑤すぐにでも転居したい	14	1.6%
不明(無回答)	31	3.6%
合計	867	100.0%



【年齢別×富野地区にこれからも住み続けたいと思いますか】

区 分	①住み続ける	②当分は住み続ける	③わからない	④できれば転居したい	⑤すぐにでも転居したい	不明(無回答)	合計	住み続ける(①+②)	わからない③	転居したい(④+⑤)
①② 16歳～29歳まで	9	21	42	12	8	0	92	32.6%	45.7%	21.7%
③ 30歳～39歳まで	39	26	16	10	2	3	96	67.7%	16.7%	12.5%
④ 40歳～49歳まで	48	33	17	14	2	0	114	71.0%	14.9%	14.1%
⑤ 50歳～59歳まで	89	29	12	15	2	1	148	79.7%	8.1%	11.5%
⑥ 60歳～69歳まで	112	28	14	9	0	2	165	84.9%	8.5%	5.4%
⑦ 70歳～79歳まで	97	12	12	5	0	2	128	85.2%	9.4%	3.9%
⑧ 80歳以上	81	11	3	2	0	6	103	89.4%	2.9%	1.9%

○「住み続ける」が55.0%と一番多く、次いで「当分は住み続ける」が18.7%で、①+②の住み続けるが73.7%になっています。

○年齢別の状況では、「16歳～29歳」は「わからない」が45.7%ですが、30歳からの上の年齢では、すべて「住み続ける」が一番多くなっています。

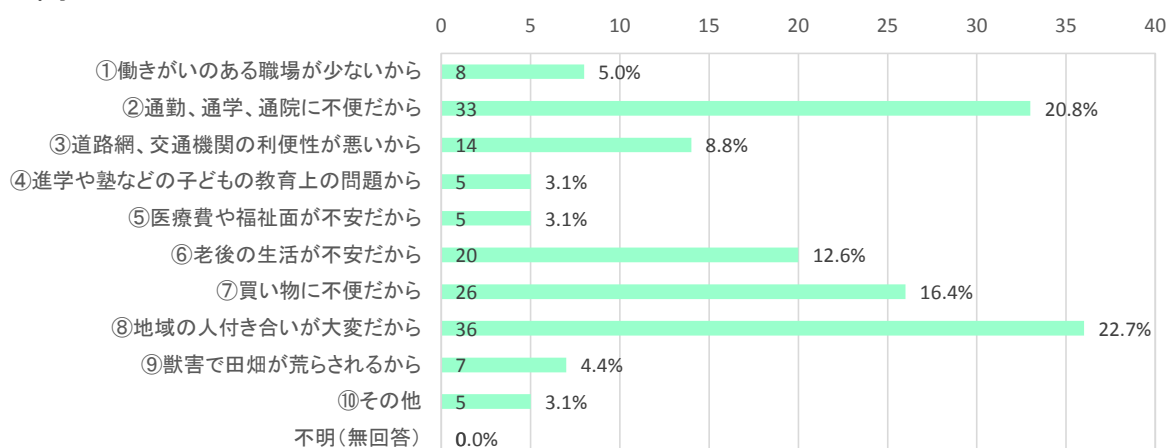
今後、若年層に対する定住、郷土愛を醸成する取り組みが必要になってきます。

問10 問9で、④、⑤を選ばれた方にお聞きします。あなたが転居したいと思う理由は何ですか。

<2つまで○印>

項 目	回答数	割 合
①働きがいのある職場が少ないから	8	5.0%
②通勤、通学、通院に不便だから	33	20.8%
③道路網、交通機関の利便性が悪いから	14	8.8%
④進学や塾などの子どもの教育上の問題から	5	3.1%
⑤医療費や福祉面が不安だから	5	3.1%
⑥老後の生活が不安だから	20	12.6%
⑦買い物に不便だから	26	16.4%
⑧地域の人付き合いが大変だから	36	22.7%
⑨獣害で田畑が荒らされるから	7	4.4%
⑩その他	5	3.1%
不明(無回答)	0	0.0%
合計	159	100.0%

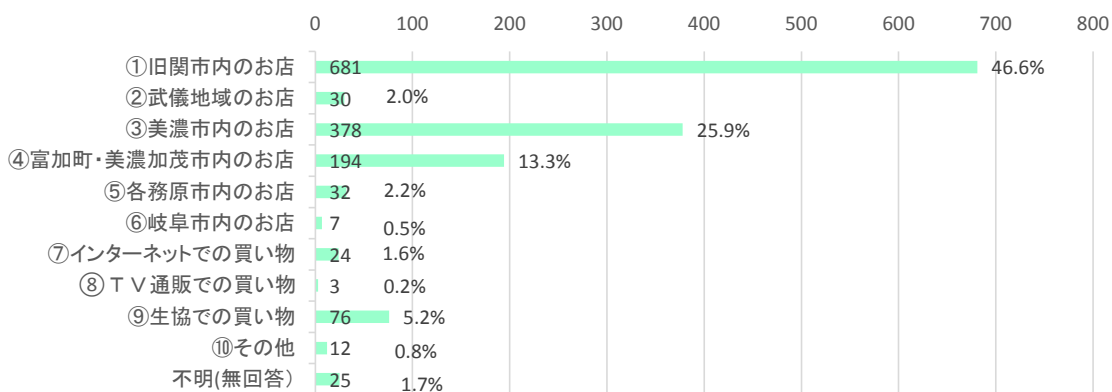
問10



問11 食料品や日常生活用品を主に購入されるお店はどこですか。 <2つまで○印>

項 目	回答数	割 合
①旧関市内のお店	681	46.6%
②武儀地域のお店	30	2.0%
③美濃市内のお店	378	25.9%
④富加町・美濃加茂市内のお店	194	13.3%
⑤各務原市内のお店	32	2.2%
⑥岐阜市内のお店	7	0.5%
⑦インターネットでの買い物	24	1.6%
⑧TV通販での買い物	3	0.2%
⑨生協での買い物	76	5.2%
⑩その他	12	0.8%
不明(無回答)	25	1.7%
合計	1,462	100.0%

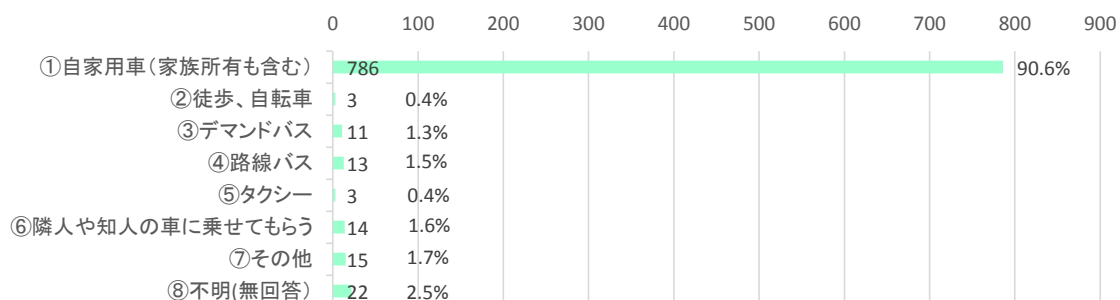
問11



問12 買い物に使う主な移動手段は何ですか。 <1つに○印>

項 目	回答数	割 合
①自家用車(家族所有も含む)	786	90.6%
②徒歩、自転車	3	0.4%
③デマンドバス	11	1.3%
④路線バス	13	1.5%
⑤タクシー	3	0.4%
⑥隣人や知人の車に乗せてもらう	14	1.6%
⑦その他	15	1.7%
⑧不明(無回答)	22	2.5%
合計	867	100.0%

問12

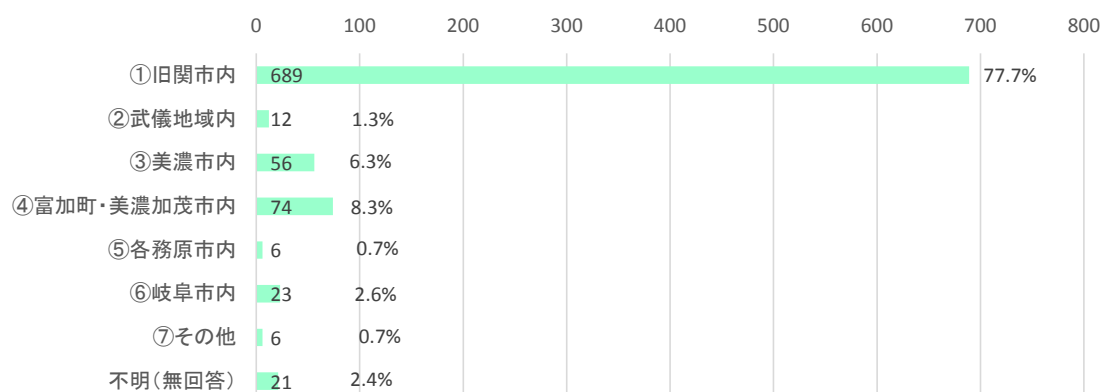


問13 あなたが主に利用する医療機関はどこにありますか。

<1つに○印>

項 目	回答数	割 合
①旧関市内	689	77.7%
②武儀地域内	12	1.3%
③美濃市内	56	6.3%
④富加町・美濃加茂市内	74	8.3%
⑤各務原市内	6	0.7%
⑥岐阜市内	23	2.6%
⑦その他	6	0.7%
不明(無回答)	21	2.4%
合 計	887	100.0%

問13

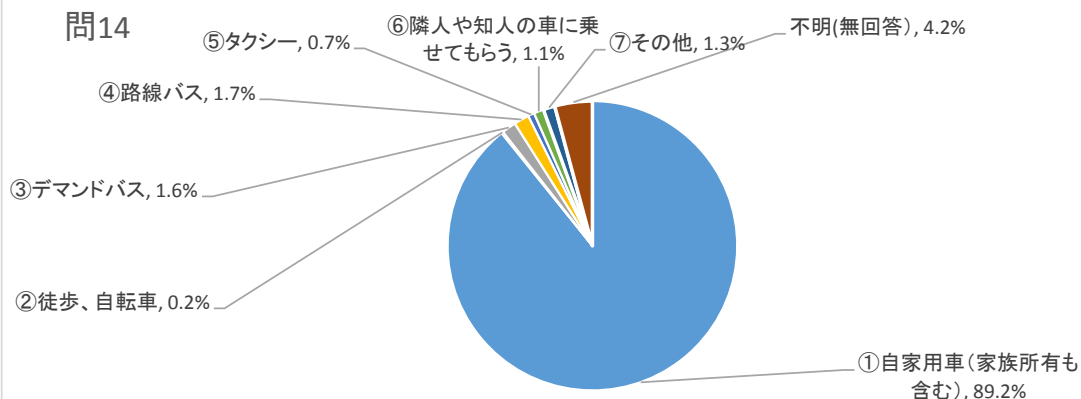


問14 医療機関には、主にどのような交通手段で行きますか。

<1つに○印>

項 目	回答数	割 合
①自家用車(家族所有も含む)	780	89.2%
②徒歩、自転車	2	0.2%
③デマンドバス	14	1.6%
④路線バス	15	1.7%
⑤タクシー	6	0.7%
⑥隣人や知人の車に乗せてもらう	10	1.1%
⑦その他	11	1.3%
不明(無回答)	37	4.2%
合計	875	100.0%

問14



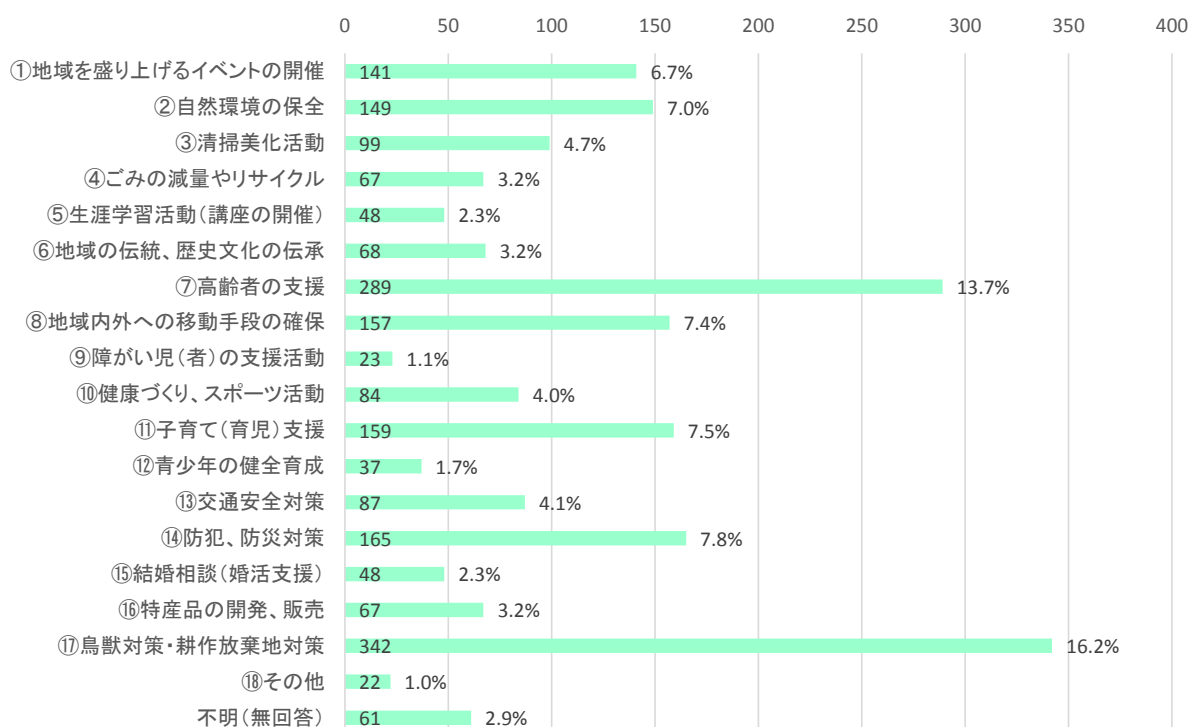
まちづくり活動についてお聞きします

問15 地域住民が力を合わせて取り組むと良いことは何ですか。

<3つまで○印>

項 目	回答数	割 合
①地域を盛り上げるイベントの開催	141	6.7%
②自然環境の保全	149	7.0%
③清掃美化活動	99	4.7%
④ごみの減量やりサイクル	67	3.2%
⑤生涯学習活動(講座の開催)	48	2.3%
⑥地域の伝統、歴史文化の伝承	68	3.2%
⑦高齢者の支援	289	13.7%
⑧地域内外への移動手段の確保	157	7.4%
⑨障がい児(者)の支援活動	23	1.1%
⑩健康づくり、スポーツ活動	84	4.0%
⑪子育て(育児)支援	159	7.5%
⑫青少年の健全育成	37	1.7%
⑬交通安全対策	87	4.1%
⑭防犯、防災対策	165	7.8%
⑮結婚相談(婚活支援)	48	2.3%
⑯特産品の開発、販売	67	3.2%
⑰鳥獣対策・耕作放棄地対策	342	16.2%
⑱その他	22	1.0%
不明(無回答)	61	2.9%
合計	2113	100.0%

問15



世帯

問15【年齢別×住民が力を合わせて取り組むと良いこと】

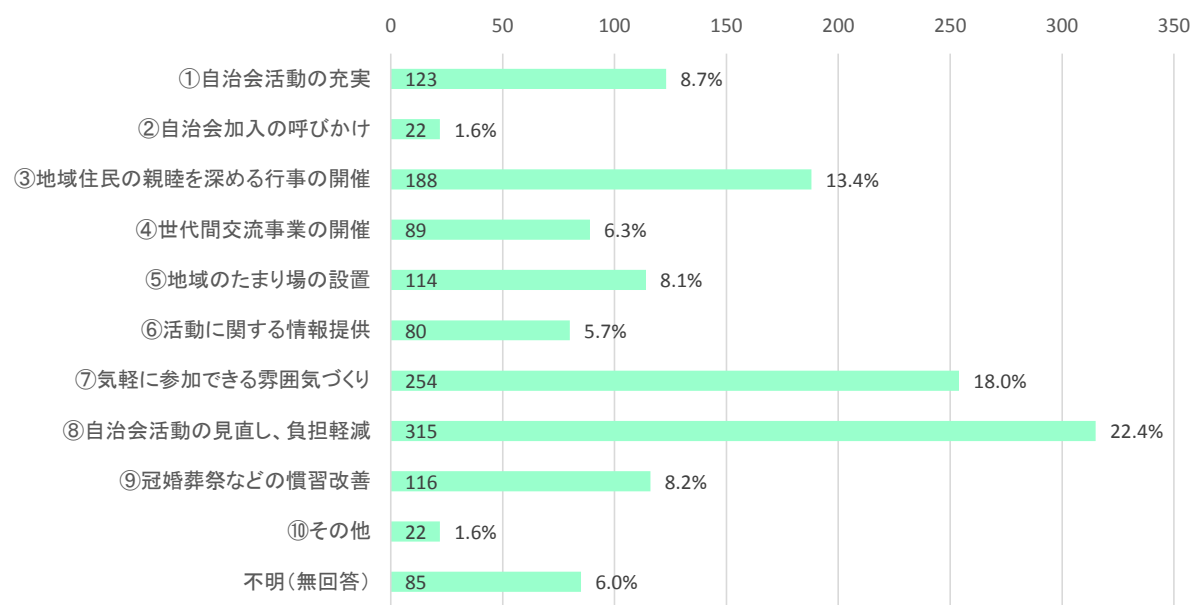
区 分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
①② 16歳～29歳まで	①イベント開催 9.9%	⑦高齢者支援 9.9%	⑧移動手段の確保 9.9%	⑪鳥獣・耕作放棄地対策 9.9%	⑪子育て(育児)支援 9.4%	②自然環境保全 7.4%
③ 30歳～39歳まで	⑪子育て(育児)支援 17.9%	⑭防犯・防災対策 12.0%	⑦高齢者支援 10.6%	①イベント開催 8.5%	⑬交通安全対策 7.7%	⑪鳥獣・耕作放棄地対策 6.4%
④ 40歳～49歳まで	⑦高齢者支援 11.9%	⑪子育て(育児)支援 11.2%	⑪鳥獣・耕作放棄地対策 10.9%	①イベント開催 9.5%	⑭防犯・防災対策 8.8%	⑬交通安全対策 7.7%
⑤ 50歳～59歳まで	⑪鳥獣・耕作放棄地対策 17.8%	⑦高齢者支援 14.1%	⑧移動手段の確保 9.2%	⑪子育て(育児)支援 8.1%	⑭防犯・防災対策 7.5%	②自然環境保全 7.0%
⑥ 60歳～69歳まで	⑪鳥獣・耕作放棄地対策 20.9%	⑦高齢者支援 14.2%	②自然環境保全 7.8%	⑭防犯・防災対策 7.6%	①イベント開催 6.9%	⑪子育て(育児)支援 6.2%
⑦ 70歳～79歳まで	⑪鳥獣・耕作放棄地対策 22.8%	⑦高齢者支援 15.7%	②自然環境保全 8.0%	①イベント開催 6.6%	⑧移動手段の確保 6.6%	⑩健康づくり、スポーツ活動 6.3%
⑧ 80歳以上	⑪鳥獣・耕作放棄地対策 22.4%	⑦高齢者支援 21.1%	⑭防犯・防災対策 9.9%	②自然環境保全 8.6%	⑧移動手段の確保 7.3%	④ゴミ減量・リサイクル 5.2 %

問16 自治会活動、地域の絆やコミュニティを守るためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

<2つまで○印>

項 目	回答数	割 合
①自治会活動の充実	123	8.7%
②自治会加入の呼びかけ	22	1.6%
③地域住民の親睦を深める行事の開催	188	13.4%
④世代間交流事業の開催	89	6.3%
⑤地域のたまり場の設置	114	8.1%
⑥活動に関する情報提供	80	5.7%
⑦気軽に参加できる雰囲気づくり	254	18.0%
⑧自治会活動の見直し、負担軽減	315	22.4%
⑨冠婚葬祭などの慣習改善	116	8.2%
⑩その他	22	1.6%
不明(無回答)	85	6.0%
合計	1408	100.0%

問16



【年齢別×自治会活動、地域の絆やコミュニティを守るためにみんなで取り組むと良いこと】

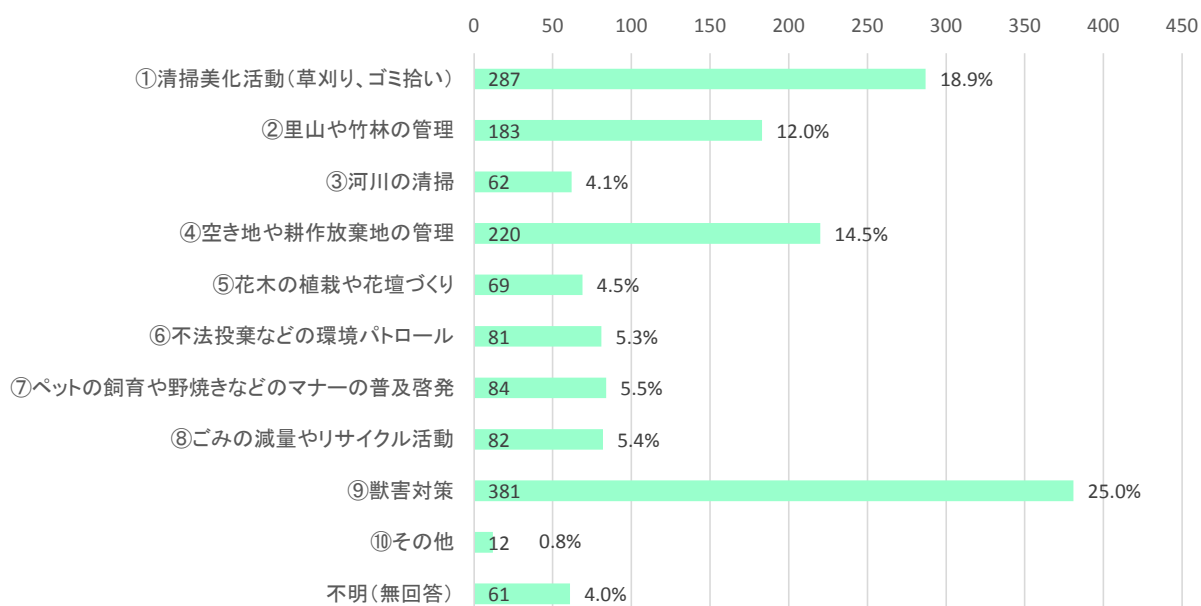
区 分	第1位	第2位	第3位
①② 16歳～29歳まで	⑦気軽に参加できる 雰囲気づくり 25%	③地域住民の親睦を 深める行事 15%	⑧自治会活動の見直し、 負担軽減 15%
③ 30歳～39歳まで	⑧自治会活動の見直し、 負担軽減 30.8%	⑦気軽に参加できる 雰囲気づくり 22.0%	④世代間交流事業の開催 9.6%
④ 40歳～49歳まで	⑧自治会活動の見直し、 負担軽減 35.1%	⑦気軽に参加できる 雰囲気づくり 16.8%	⑥活動に関する情報提供 10.0%
⑤ 50歳～59歳まで	⑧自治会活動の見直し、 負担軽減 26.0%	⑦気軽に参加できる 雰囲気づくり 17.8%	③地域住民の親睦を 深める行事 13.6%
⑥ 60歳～69歳まで	⑧自治会活動の見直し、 負担軽減 23.9%	⑦気軽に参加できる 雰囲気づくり 19.6%	③地域住民の親睦を 深める行事 15.6%
⑦ 70歳～79歳まで	⑦気軽に参加できる 雰囲気づくり 19.0%	③地域住民の親睦を深める行 事 18.5%	⑧自治会活動の見直し、 負担軽減 15.4%
⑧ 80歳以上	③地域住民の親睦を 深める行事 19.6%	⑧自治会活動の見直し、 負担軽減 17.4%	⑦気軽に参加できる 雰囲気づくり 15.2%

問17 生活環境を守るためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

<2つまで○印>

項 目	回答数	割 合
①清掃美化活動(草刈り、ゴミ拾い)	287	18.9%
②里山や竹林の管理	183	12.0%
③河川の清掃	62	4.1%
④空き地や耕作放棄地の管理	220	14.5%
⑤花木の植栽や花壇づくり	69	4.5%
⑥不法投棄などの環境パトロール	81	5.3%
⑦ペットの飼育や野焼きなどのマナーの普及啓発	84	5.5%
⑧ごみの減量やリサイクル活動	82	5.4%
⑨獣害対策	381	25.0%
⑩その他	12	0.8%
不明(無回答)	61	4.0%
合計	1522	100.0%

問17



【年齢別 × 生活環境を守るためにみんなで取り組むと良いこと】

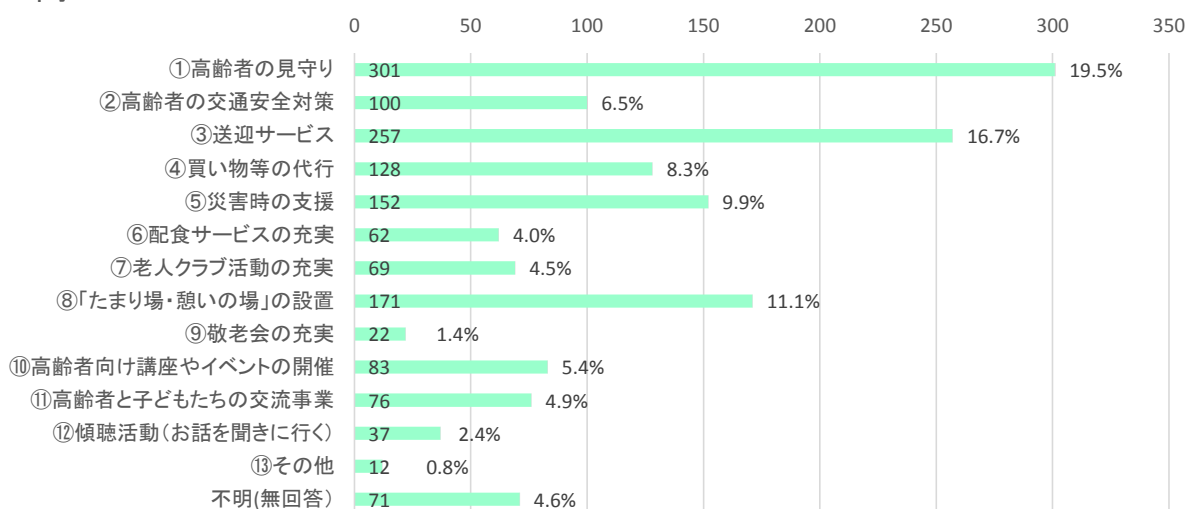
区 分	第1位	第2位	第3位
①② 16歳～29歳まで	①清掃美化活動 24.2%	⑨獣害対策 15.4%	④空き地や耕作放棄地の管理 13.4%
③ 30歳～39歳まで	①清掃美化活動 24.2%	②里山や竹林の管理 16.8%	⑨獣害対策 16.1%
④ 40歳～49歳まで	⑨獣害対策 22.6%	①清掃美化活動 19.0%	②里山や竹林の管理 13.3%
⑤ 50歳～59歳まで	⑨獣害対策 30.2%	①清掃美化活動 17.8%	④空き地や耕作放棄地の管理 15.1%
⑥ 60歳～69歳まで	⑨獣害対策 31.3%	④空き地や耕作放棄地の管理 18.8%	①清掃美化活動 18.1%
⑦ 70歳～79歳まで	⑨獣害対策 26.9%	①清掃美化活動 19.2%	④空き地や耕作放棄地の管理 16.1%
⑧ 80歳以上	⑨獣害対策 32.7%	①清掃美化活動 19.1%	④空き地や耕作放棄地の管理 16.0%

問18 高齢者が安心して生き生きと暮らすためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

<2つまで○印>

項 目	回答数	割 合
①高齢者の見守り	301	19.5%
②高齢者の交通安全対策	100	6.5%
③送迎サービス	257	16.7%
④買い物等の代行	128	8.3%
⑤災害時の支援	152	9.9%
⑥配食サービスの充実	62	4.0%
⑦老人クラブ活動の充実	69	4.5%
⑧「たまり場・憩いの場」の設置	171	11.1%
⑨敬老会の充実	22	1.4%
⑩高齢者向け講座やイベントの開催	83	5.4%
⑪高齢者と子どもたちの交流事業	76	4.9%
⑫傾聴活動（お話を聞きに行く）	37	2.4%
⑬その他	12	0.8%
不明(無回答)	71	4.6%
合計	1541	100.0%

問18



【年齢別 × 生活環境を守るためにみんなで取り組むと良いこと】

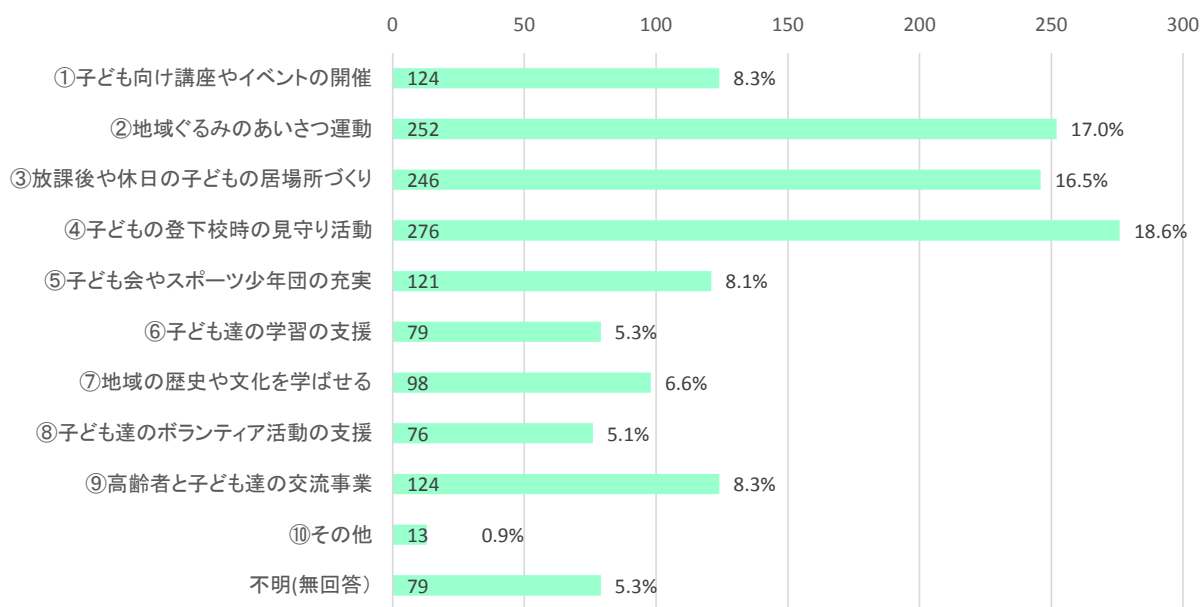
区 分	第1位	第2位	第3位
①② 16歳～29歳まで	①高齢者の見守り 20.4%	③送迎サービス 15.1%	⑧「たまり場・憩いの場」の 設置 12.5%
③ 30歳～39歳まで	①高齢者の見守り 21.0%	③送迎サービス 19.8%	⑧「たまり場・憩いの場」の 設置 12.0%
④ 40歳～49歳まで	①高齢者の見守り 20.8%	③送迎サービス 16.9%	⑤災害時の支援 10.6%
⑤ 50歳～59歳まで	③送迎サービス 19.9%	①高齢者の見守り 17.4%	⑧「たまり場・憩いの場」の 設置 12.0%
⑥ 60歳～69歳まで	①高齢者の見守り 20.8%	③送迎サービス 15.9%	⑧「たまり場・憩いの場」の 設置 14.9%
⑦ 70歳～79歳まで	①高齢者の見守り 23.3%	③送迎サービス 14.8%	⑧「たまり場・憩いの場」の 設置 11.4%
⑧ 80歳以上	①高齢者の見守り 21.3%	③送迎サービス 19.5%	⑧「たまり場・憩いの場」の 設置 12.2%

問19 子ども達を健やかに育むためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

<2つまで○印>

項 目	回答数	割 合
①子ども向け講座やイベントの開催	124	8.3%
②地域ぐるみのあいさつ運動	252	17.0%
③放課後や休日の子どもの居場所づくり	246	16.5%
④子どもの登下校時の見守り活動	276	18.6%
⑤子ども会やスポーツ少年団の充実	121	8.1%
⑥子ども達の学習の支援	79	5.3%
⑦地域の歴史や文化を学ばせる	98	6.6%
⑧子ども達のボランティア活動の支援	76	5.1%
⑨高齢者と子ども達の交流事業	124	8.3%
⑩その他	13	0.9%
不明(無回答)	79	5.3%
合計	1488	100.0%

問19



【年齢別 × 子ども達を健やかに育むためにみんなで取り組むと良いこと】

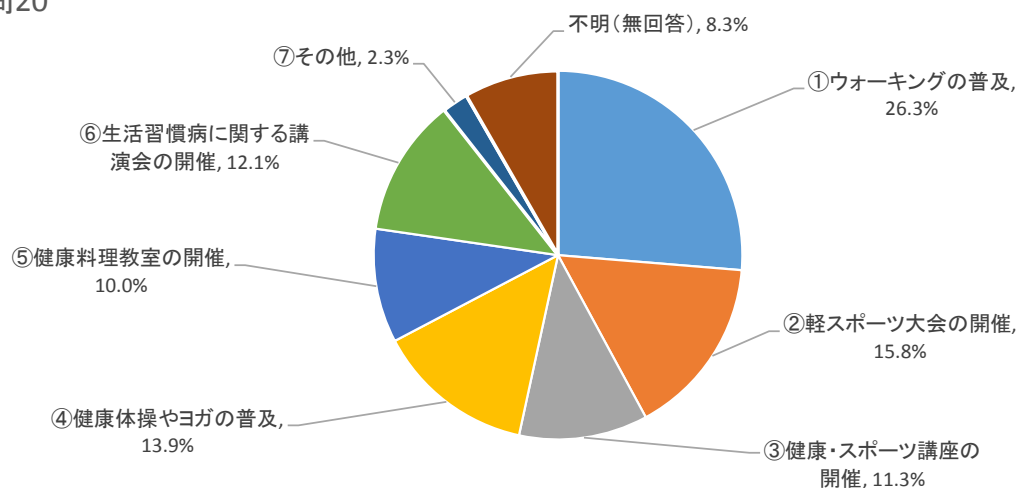
区 分	第1位	第2位	第3位
①② 16歳～29歳まで	④子供の登下校時の 見守り活動 26.3%	③放課後や休日の子どもの 居場所づくり 20.4%	⑤子ども会やスポーツ少年団 の充実 11.8%
③ 30歳～39歳まで	③放課後や休日の子どもの 居場所づくり 23.8%	④子供の登下校時の 見守り活動 19.6%	①子ども向け講座やイベントの 開催 12.5%
④ 40歳～49歳まで	④子供の登下校時の 見守り活動 20.9%	③放課後や休日の子どもの 居場所づくり 19.4%	②地域ぐるみのあいさつ運動 14.8%
⑤ 50歳～59歳まで	④子供の登下校時の 見守り活動 20.7%	③放課後や休日の子どもの 居場所づくり 17.6%	②地域ぐるみのあいさつ運動 ⑤子ども会、スポーツ少年団の充実12.9%
⑥ 60歳～69歳まで	②地域ぐるみのあいさつ運動 22.6%	④子供の登下校時の 見守り活動 17.0%	③放課後や休日の子どもの 居場所づくり 15.6%
⑦ 70歳～79歳まで	②地域ぐるみのあいさつ運動 27.1%	③放課後や休日の子どもの 居場所づくり 15.8%	④子供の登下校時の 見守り活動 15.8%
⑧ 80歳以上	②地域ぐるみのあいさつ運動 27.9%	④子供の登下校時の 見守り活動 18.6%	⑨高齢者と子ども達の 交流事業 12.9%

問20 健康増進のためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

<2つまで○印>

項 目	回答数	割 合
①ウォーキングの普及	349	26.3%
②軽スポーツ大会の開催	210	15.8%
③健康・スポーツ講座の開催	150	11.3%
④健康体操やヨガの普及	184	13.9%
⑤健康料理教室の開催	133	10.0%
⑥生活習慣病に関する講演会の開催	160	12.1%
⑦その他	30	2.3%
不明(無回答)	110	8.3%
合 計	1326	100.0%

問20



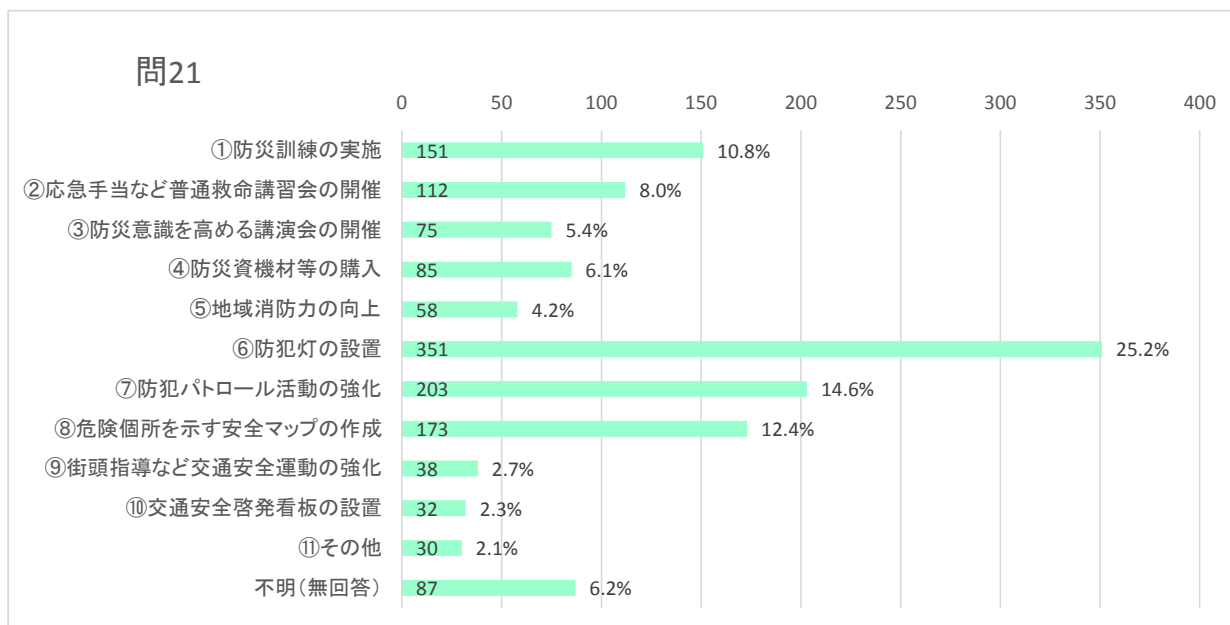
【年齢別×健康増進のためにみんなで取り組むと良いこと】

区 分	第1位	第2位	第3位
①② 16歳～29歳まで	①ウォーキングの普及 25.4%	②軽スポーツ大会の開催 23.1%	④健康体操やヨガの普及 16.2%
③ 30歳～39歳まで	①ウォーキングの普及 22.1%	②軽スポーツ大会の開催 20.7%	④健康体操やヨガの普及 19.3%
④ 40歳～49歳まで	①ウォーキングの普及 28.6%	④健康体操やヨガの普及 18.6%	②軽スポーツ大会の開催 15.5%
⑤ 50歳～59歳まで	①ウォーキングの普及 28.2%	②軽スポーツ大会の開催 16.3%	④健康体操やヨガの普及 15.0%
⑥ 60歳～69歳まで	①ウォーキングの普及 33.6%	②軽スポーツ大会の開催 14.6%	④健康体操やヨガの普及 14.2%
⑦ 70歳～79歳まで	①ウォーキングの普及 28.4%	⑤健康料理教室の開催 16.0%	②軽スポーツ大会の開催 14.8%
⑧ 80歳以上	①ウォーキングの普及 30.4%	②軽スポーツ大会の開催 21.6%	⑥健康習慣病に関する講演会の開催 21.6%

問21 安心して暮らすためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

<2つまで○印>

項 目	回答数	割 合
①防災訓練の実施	151	10.8%
②応急手当など普通救命講習会の開催	112	8.0%
③防災意識を高める講演会の開催	75	5.4%
④防災資機材等の購入	85	6.1%
⑤地域消防力の向上	58	4.2%
⑥防犯灯の設置	351	25.2%
⑦防犯パトロール活動の強化	203	14.6%
⑧危険個所を示す安全マップの作成	173	12.4%
⑨街頭指導など交通安全運動の強化	38	2.7%
⑩交通安全啓発看板の設置	32	2.3%
⑪その他	30	2.1%
不明(無回答)	87	6.2%
合計	1395	100.0%



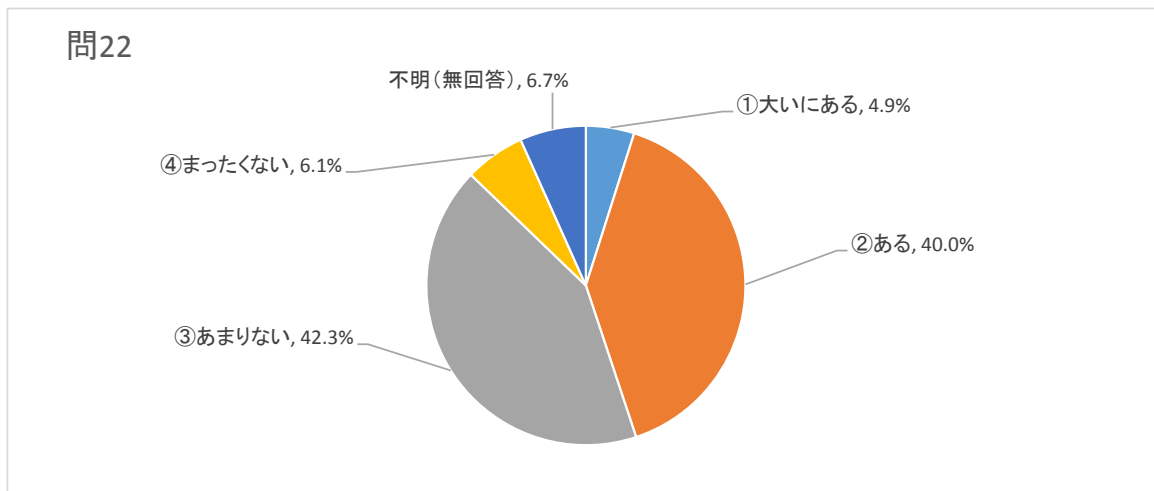
【年齢別×安心して暮らすためにみんなで取り組むと良いこと】

区 分	第1位	第2位	第3位
①② 16歳～29歳まで	⑥防犯灯の設置 25.5%	⑦防犯パトロール活動の強化 18.4%	①防災訓練の実施 15.6%
③ 30歳～39歳まで	⑥防犯灯の設置 30.7%	⑧危険個所を示す安全マップの 作成 14.7%	①防災訓練の実施 13.3%
④ 40歳～49歳まで	⑥防犯灯の設置 32.8%	⑦防犯パトロール活動の強化 15.6%	②応急手当など普通救命講習 会の開催 10.6%
⑤ 50歳～59歳まで	⑥防犯灯の設置 27.3%	⑦防犯パトロール活動の強化 13.9%	①防災訓練の実施 12.7%
⑥ 60歳～69歳まで	⑥防犯灯の設置 25.5%	⑦防犯パトロール活動の強化 15.5%	⑧危険個所を示す安全マップの 作成 14.8%
⑦ 70歳～79歳まで	⑥防犯灯の設置 25.1%	⑧危険個所を示す安全マップの 作成 17.7%	⑦防犯パトロール活動の強化 16.6%
⑧ 80歳以上	⑥防犯灯の設置 20.1%	⑦防犯パトロール活動の強化 16.5%	⑧危険個所を示す安全マップの 作成 13.7%

まちづくり活動への参加についてお聞きします

問22 まちづくり活動に関心がありますか。＜1つに○印＞

項 目	回答数	割 合
①大いにある	42	4.9%
②ある	345	40.0%
③あまりない	365	42.3%
④まったくない	53	6.1%
不明(無回答)	58	6.7%
合計	863	100.0%



【年齢別×まちづくり活動に関心がありますか】

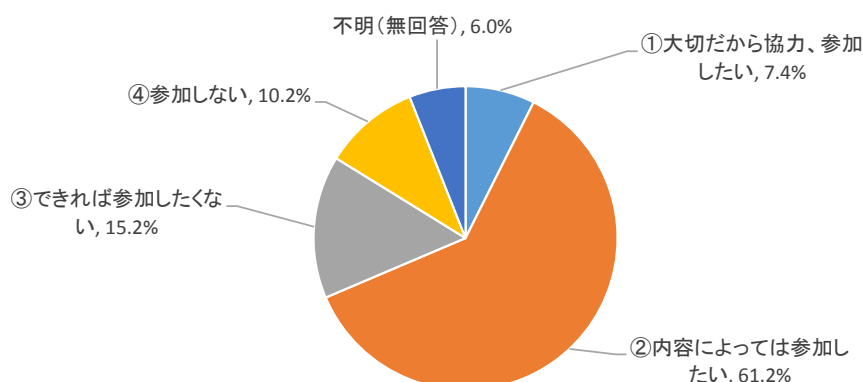
区 分	①大いにある		②ある		③あまりない		④全くない		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①② 16歳～29歳まで	0	0 %	19	20.7 %	59	64.1 %	10	10.9 %	4	4.3 %
③ 30歳～39歳まで	4	4.1 %	36	37.1 %	44	45.4 %	9	9.3 %	4	4.1 %
④ 40歳～49歳まで	5	4.4 %	43	37.7 %	58	50.9 %	7	6.1 %	1	0.9 %
⑤ 50歳～59歳まで	1	0.7 %	70	47.3 %	64	43.2 %	9	6.1 %	4	2.7 %
⑥ 60歳～69歳まで	9	5.5 %	84	51.2 %	62	37.8 %	5	3.1 %	4	2.4 %
⑦ 70歳～79歳まで	12	9.4 %	55	43.3 %	44	34.7 %	4	3.2 %	12	9.4 %
⑧ 80歳以上	11	10.7 %	37	35.9 %	32	31.1 %	9	8.7 %	14	13.6 %

○回答では、①+②の「関心がある」は44.9%、③+④の「関心がない」は48.4%となっています。年齢別の状況では、16歳～49歳までは「関心がない」割合が多くなっていますが、60歳からの年齢が高くなるほど「関心がある」の割合が高くなっています。

問23 まちづくり活動への参加についてどのように思われますか。 <1つに○印>

項 目	回答数	割 合
①大切だから協力、参加したい	64	7.4%
②内容によっては参加したい	529	61.2%
③できれば参加したくない	131	15.2%
④参加しない	88	10.2%
不明(無回答)	52	6.0%
合計	864	100.0%

問23



【年齢別×まちづくり活動への参加についてどのように思われますか】

区 分	①協力、参加したい		②内容によっては参加したい		③できれば参加したくない		④参加しない		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①② 16歳～29歳まで	0	0 %	43	46.8 %	28	30.4 %	17	18.5 %	4	4.3 %
③ 30歳～39歳まで	4	4.1 %	61	62.9 %	17	17.5 %	11	11.4 %	4	4.1 %
④ 40歳～49歳まで	4	3.5 %	76	66.6 %	24	21.1 %	10	8.8 %	0	0 %
⑤ 50歳～59歳まで	11	7.5 %	100	68.0 %	22	15.0 %	10	6.8 %	4	2.7 %
⑥ 60歳～69歳まで	21	12.6 %	125	74.8 %	11	6.6 %	5	3.0 %	5	3.0 %
⑦ 70歳～79歳まで	12	9.4 %	83	65.4 %	13	10.2 %	9	7.1 %	10	7.9 %
⑧ 80歳以上	12	11.5 %	39	37.5 %	15	14.4 %	25	24.0 %	13	12.6 %

○回答では、①+②の「協力、参加したい」が68.6%で、③+④の「参加したくない」が25.4%となっています。
○年齢別では、50歳からの①+②の「協力、参加したい」割合が高くなっています。地域活力を生み出すために、高齢者の活用が重要な課題となっています。

問24 今後、どのようなまちづくり活動に参加したいですか。 <3つまで○印>

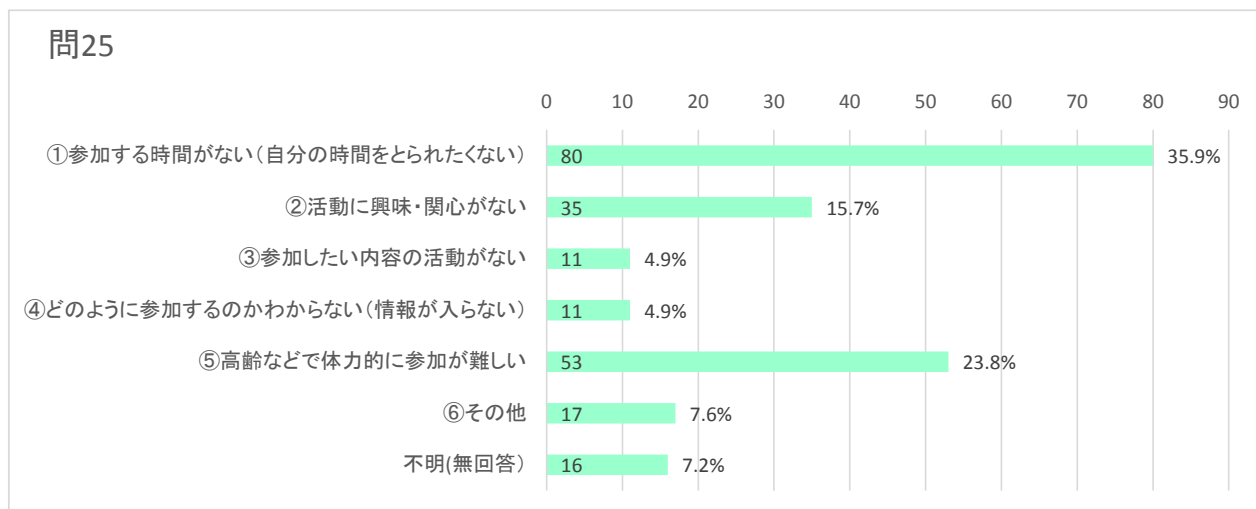
項 目	回答数	割 合
①自治会活動	109	6.2%
②祭りやイベント活動	175	9.9%
③自然環境の保全活動	115	6.5%
④ゴミの減量やリサイクル活動	85	4.8%
⑤地域の清掃美化活動	154	8.7%
⑥地域の伝統、歴史文化の伝承活動	61	3.5%
⑦生涯学習や文化芸術活動	84	4.8%
⑧高齢者の支援活動	149	8.4%
⑨障がい児(者)の支援活動	22	1.2%
⑩子育て支援活動	95	5.4%
⑪子どもの教育支援活動	67	3.8%
⑫青少年の健全育成活動	24	1.4%
⑬女性団体の活動	27	1.5%
⑭健康づくり活動	174	9.8%
⑮スポーツ、レクリエーション活動	120	6.8%
⑯防犯、防災活動	87	4.9%
⑰消防団活動	8	0.5%
⑱交通安全活動	36	2.0%
⑲その他	21	1.2%
不明(無回答)	154	8.7%
合計	1767	100.0%

【年齢別×今後、どのようなまちづくり活動に参加したいですか】

区 分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
①② 16歳～29歳まで	②祭りやイベント活動 22.1%	⑮スポーツ、レクリエーション活動 14.7%	⑧高齢者の支援活動 7.4%	⑤地域の清掃美化活動 6.7%	⑩子育て支援活動 6.7%	⑯防犯、防災活動 6.1%
③ 30歳～39歳まで	②祭りやイベント活動 17.1%	⑩子育て支援活動 15.0%	⑪子どもの教育支援活動 11.9%	⑮スポーツ、レクリエーション活動 8.8%	⑦生涯活動や文化芸術活動 6.7%	⑤地域の清掃美化活動 6.2%
④ 40歳～49歳まで	②祭りやイベント活動 12.7%	⑮スポーツ、レクリエーション活動 10.8%	⑤地域の清掃美化活動 9.9%	⑩子育て支援活動 9.0%	⑭健康づくり活動 8.5%	⑥地域の伝統、歴史文化の伝承活動 6.1%
⑤ 50歳～59歳まで	⑭健康づくり活動 12.2%	①自治会活動 9.9%	②祭りやイベント活動 9.9%	⑤地域の清掃美化活動 9.2%	⑧高齢者の支援活動 7.8%	⑮スポーツ、レクリエーション活動 7.8%
⑥ 60歳～69歳まで	⑭健康づくり活動 14.4%	③自然環境の保全活動 10.3%	⑤地域の清掃美化活動 9.7%	⑧高齢者の支援活動 9.4%	②祭りやイベント活動 7.5%	①自治会活動 6.9%
⑦ 70歳～79歳まで	⑭健康づくり活動 14.5%	⑤地域の清掃美化活動 13.2%	⑧高齢者の支援活動 12.8%	③自然環境の保全活動 10.3%	①自治会活動 9.4%	④ゴミの減量やリサイクル活動 7.7%
⑧ 80歳以上	⑧高齢者の支援活動 19.7%	④ゴミの減量やリサイクル活動 11.8%	⑤地域の清掃美化活動 11.2%	⑭健康づくり活動 10.5%	①自治会活動 7.9%	⑮スポーツ、レクリエーション活動 5.9%

問25 問23で、③、④を選んだ方にお聞きます。まちづくり活動に参加したくない(参加しない)のは、どのような理由ですか。 <1つに○印>

項 目	回答数	割合
①参加する時間がない(自分の時間をとられたくない)	80	35.9%
②活動に興味・関心がない	35	15.7%
③参加したい内容の活動がない	11	4.9%
④どのように参加するのかわからない(情報が入らない)	11	4.9%
⑤高齢などで体力的に参加が難しい	53	23.8%
⑥その他	17	7.6%
不明(無回答)	16	7.2%
合計	223	100.0%



【年齢別×問23で、③、④を選んだ方のまちづくり活動に参加したくない(参加しない)理由は】

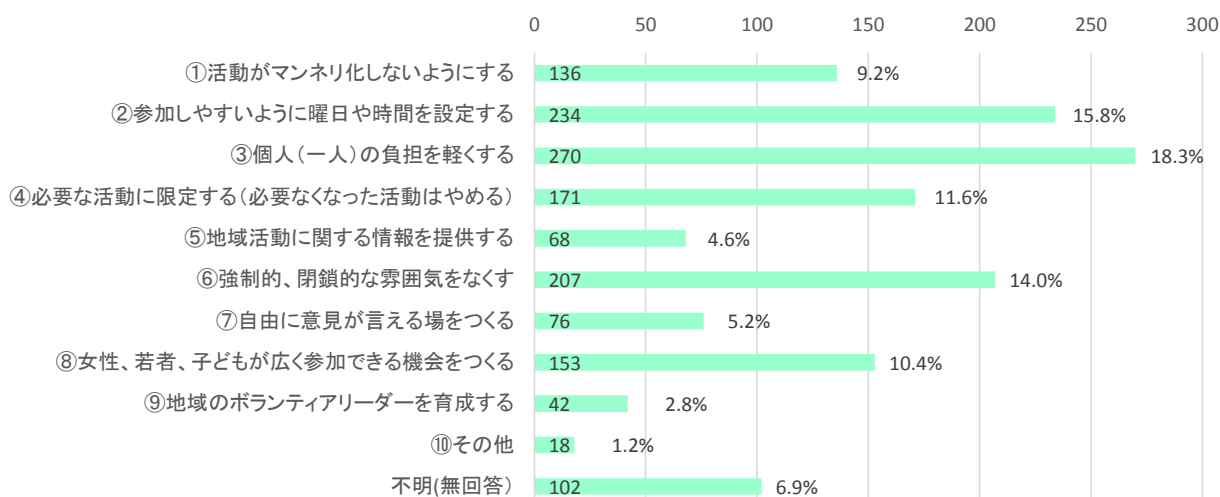
区 分	第1位	第2位	第3位
①② 16歳～29歳まで	①参加する時間がない(自分の時間をとられたくない) 57.8%	②活動に興味・関心がない 24.4%	④どのように参加するのかわからない(情報が入らない) 8.9%
③ 30歳～39歳まで	①参加する時間がない(自分の時間をとられたくない) 62.0%	②活動に興味・関心がない 17.2%	⑥その他 10.3%
④ 40歳～49歳まで	①参加する時間がない(自分の時間をとられたくない) 51.5%	②活動に興味・関心がない 21.2%	③参加したい内容の活動がない 12.1%
⑤ 50歳～59歳まで	①参加する時間がない(自分の時間をとられたくない) 56.3%	②活動に興味・関心がない 18.8%	③参加したい内容の活動がない ⑥その他 各9.4%
⑥ 60歳～69歳まで	⑤高齢などで体力的に参加が難しい 28.6%	①参加する時間がない(自分の時間をとられたくない) 21.4%	②活動に興味・関心がない ⑥その他 各21.4%
⑦ 70歳～79歳まで	⑤高齢などで体力的に参加が難しい 85.7%	②活動に興味・関心がない 9.5%	⑥その他 4.8%
⑧ 80歳以上	⑤高齢などで体力的に参加が難しい 87.5%	⑥その他 7.5%	②活動に興味・関心がない ④どのように参加するのかわからない(情報が入らない) 各 2.5%

問26 まちづくり活動に多くの人が参加するためには、どのようなことが必要ですか。

<2つまで○印>

項 目	回答数	割合
①活動がマンネリ化しないようにする	136	9.2%
②参加しやすいように曜日や時間を設定する	234	15.8%
③個人(一人)の負担を軽くする	270	18.3%
④必要な活動に限定する(必要なくなった活動はやめる)	171	11.6%
⑤地域活動に関する情報を提供する	68	4.6%
⑥強制的、閉鎖的な雰囲気をなくす	207	14.0%
⑦自由に意見が言える場をつくる	76	5.2%
⑧女性、若者、子どもが広く参加できる機会をつくる	153	10.4%
⑨地域のボランティアリーダーを育成する	42	2.8%
⑩その他	18	1.2%
不明(無回答)	102	6.9%
合計	1,477	100.0%

問26



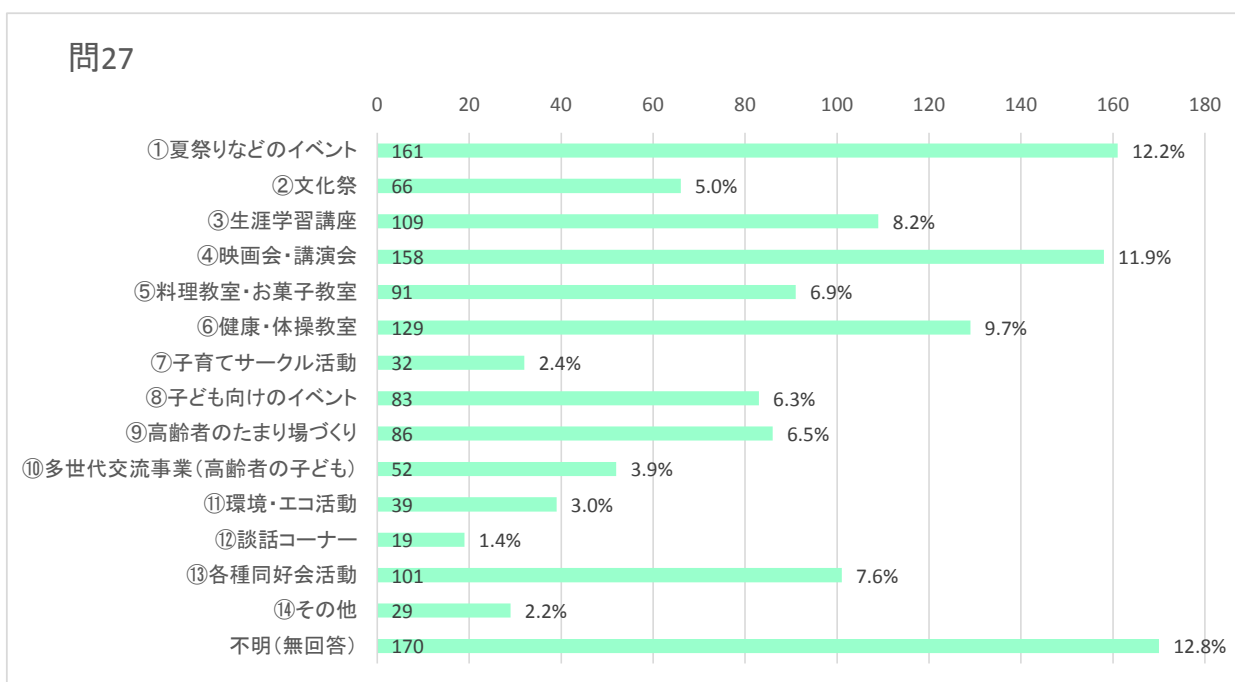
問26【年齢別×まちづくり活動に多くの人が参加するためには、どのようなことが必要ですか】

区 分	第1位	第2位	第3位
①② 16歳～29歳まで	②参加しやすいように曜日や時間設定をする 18.7%	⑥強制的、閉鎖的な雰囲気をなくす 16.7%	③個人(一人)の負担を軽くする 15.3%
③ 30歳～39歳まで	⑥強制的、閉鎖的な雰囲気をなくす 20.1%	③個人(一人)の負担を軽くする 19.5%	④必要な活動に限定する(必要なくなった活動はやめる) 16.6%
④ 40歳～49歳まで	③個人(一人)の負担を軽くする 27.9%	④必要な活動に限定する(必要なくなった活動はやめる) 16.3%	⑥強制的、閉鎖的な雰囲気をなくす 14.9%
⑤ 50歳～59歳まで	③個人(一人)の負担を軽くする 24.7%	②参加しやすいように曜日や時間設定をする 20.4%	⑥強制的、閉鎖的な雰囲気をなくす 13.7%
⑥ 60歳～69歳まで	②参加しやすいように曜日や時間設定をする 19.1%	③個人(一人)の負担を軽くする 17.0%	⑥強制的、閉鎖的な雰囲気をなくす 15.5%
⑦ 70歳～79歳まで	②参加しやすいように曜日や時間設定をする 19.4%	④必要な活動に限定する(必要なくなった活動はやめる) 15.0%	③個人(一人)の負担を軽くする 14.4%
⑧ 80歳以上	②参加しやすいように曜日や時間設定をする 21.0%	⑧女性、若者、子どもが広く参加できる機会をつくる 16.9%	③個人(一人)の負担を軽くする 14.5%

問27 富野ふれあいセンターでどのような行事・事業が行われれば参加したいと思いますか。

<2つまで○印>

項 目	回答数	割合
①夏祭りなどのイベント	161	12.2%
②文化祭	66	5.0%
③生涯学習講座	109	8.2%
④映画会・講演会	158	11.9%
⑤料理教室・お菓子教室	91	6.9%
⑥健康・体操教室	129	9.7%
⑦子育てサークル活動	32	2.4%
⑧子ども向けのイベント	83	6.3%
⑨高齢者のたまり場づくり	86	6.5%
⑩多世代交流事業(高齢者の子ども)	52	3.9%
⑪環境・エコ活動	39	3.0%
⑫談話コーナー	19	1.4%
⑬各種同好会活動	101	7.6%
⑭その他	29	2.2%
不明(無回答)	170	12.8%
合計	1,325	100.0%



【年齢別×富野ふれあいセンターで参加したい行事・事業】

区 分	第1位	第2位	第3位
①② 16歳～29歳まで	①夏祭りなどのイベント 28.9%	⑤料理教室、お菓子教室 14.0%	⑧子供向けのイベント 8.6%
③ 30歳～39歳まで	①夏祭りなどのイベント 24.5%	⑧子供向けのイベント 19.9%	⑤料理教室、お菓子教室 11.3%
④ 40歳～49歳まで	①夏祭りなどのイベント 21.9%	④映画会、講演会 15.5%	⑥健康・体操教室 11.6%
⑤ 50歳～59歳まで	④映画会、講演会 19.9%	③生涯学習講座 14.6%	⑥健康・体操教室 13.6%
⑥ 60歳～69歳まで	④映画会、講演会 15.4%	⑥健康・体操教室 14.6%	③生涯学習講座 11.7%
⑦ 70歳～79歳まで	⑨高齢者のたまり場づくり 20.3%	⑥健康・体操教室 13.7%	④映画会、講演会 13.1%
⑧ 80歳以上	⑨高齢者のたまり場づくり 23.5%	③生涯学習講座 13.4%	⑬各種同好会活動 10.1%

富野アンケート その他欄、自由記載欄

※アンケートに記載された内容で、同じ意見については一部集約してあります。

問28 自由意見

■ 鳥獣害対策をして、農業が続けられる富野に！

耕作放棄地が増えるのが心配

高齢で田畑の管理に困っています。

今一番は鳥獣対策。野菜を作っているので何の楽しみもない。

猿による被害が多いので猿対策に期待します。

猿や猪や鹿の対策をお願いします。

鳥獣被害対策にもっと情報提供や支援をしていただき何とか被害が無くなるよう指導等を要望致します。

家庭菜園を楽しんでいるのですが、動物による被害に悩んでいます。これ以上、耕作放棄地が増えないようにと思っても、このままでは耕作出来なくなります。

若い世代は減り、商店は減り、田・畑は荒れて行くことを年ごとに感じます。野菜は鳥、獣にやられて大変です。やはり将来に不安を感じます。

■ ルールを守って、住みやすい富野に！

トラクター、田植機、コンバインの泥を落としてから道路に出るよう注意があったが、まだ守られていない。道路を汚さないこと。飼い犬の糞の後始末が不十分

近所でゴミを燃やす方がありますのでやめていただきたい。

プラスチック製品を燃やす方々がおられますのでやめてもらう方法を考えて下さい。

車の運転していて道路端にゴミが散乱しているのを目にします。標識などでゴミのポイ捨てを無くしてはどうでしょう。

犬の糞を必ず持ち帰るように！罰金制にすると良いと思う。

住民一人一人がマナーを守り地域ともコミュニケーションがとれるようにする。

早朝からの野焼きはやめてほしい。窓も開けられないし、洗濯物も干せない。

自宅周辺の空気が悪く困っています。他の方も困っていると思うのですが地域として対応していただけないでしょうか。住環境の取り組みをしていただける窓口があると有りがたいです。

■ 交通、買い物、通院が便利で、高齢になっても安心して暮らしたい！

今は自分で買い物に出かける事ができるが、将来的に自分で行けなくなることが心配である。

コンビニ・ドラッグストアなどを作って欲しい

老人だけの世帯になった時、車を使わずに行ける病院、スーパーなどが近く(地元)に出来れば安心して富野で生活できると思う。

自分が年を取っていった時に、買い物も自由に出来ず、病院なども自由に行けなくなっていく事で、生活していけるのか不安を感じます

車が無いと買い物等に行けない。通学が難しい。それに関らず公共交通機関が発達していない。バスの本数や低料金のタクシーや乗合ができるとうい。

交通の便が悪くて困る、関方面に便利に行けるようにしてほしい

近くに小さなスーパーがあれば助かります。

富野地区に大きなスーパーが出来るといいですね。

富野地区に病院が出来るように。

車を運転出来ない人の為にふれあいセンター・農協・郵便局・小中学校等へ行くことが出来る手段。富野を回るバスとかタクシーがあると良いと思います。いろんな行事を計画されても高齢者で免許のない人は参加しにくいと思うのです。デマンドも富野内をひとまわりしないので必要に応じてあるとありがたいです。

車に乗れない、乗らない人たちの足になるようなものが値打ちにあるといいと思う。

デマンドバスが、富野地区⇄関市街だけでなく、富野地区内の巡回バスのようなもの(車の無い人、乗れない人が地域内で出かけられるような)にできれば、地区内での交流がしやすくなるのではないのでしょうか。

■ 高齢者をみんなで支え合う富野に！

高齢者が笑って暮らせる事が第一です

高齢社会に突入するため、独居老人や老々世帯の見守りが今以上に必要視される事から

- ①週2回のゴミ出しが困難になる事から自治会内で連携を取ってゴミ出しに協力する。
 - ②日頃から自治会内で見守り方法を決めておく。
 - ③生活必需品の必要な物品リストとお金を預かり、自分の買物時に買物代行してあげる。
- 高齢者、障害者等の移動手段のため、富野地区独自の輸送(移送)サービスを確定する。

一人暮らしの老人を見て頂きたいです。

年齢もあり10年後の事は考えていません。一日一日を考えて生活するのみです。

自然に恵まれたとても素敵な地域だと思います。この自然を生かした取り組みを(具体的にはありませんが)少しずつしていくといいと思います。

地域全体がファミリーとなれるような取り組みがあるといいですね。これは長年の課題であると思います。

多くの元気な高齢者が居住する富野地区であって欲しい。

病氣と共に日々生活しております。余生を楽しく生きていければ・・・

加齢により身体の所々が痛み、何をするにも面倒になります。何もやりたくない人間に何かやる気を起こしてくれることを考えて下さい。

少子化、高齢者、一人暮らしの増加を見据えての地区の見守り、活性化が望まれる。
買い物、医療への送迎などが必要。

高齢者を狙った犯罪に巻き込まれないか不安になる。

今は高齢者の認知症で多くの人が苦しみまた家族も大変です。家族だけでの生活はかなり厳しい時代です。近所の人の手助けなどはかなりありがたい事です。

両隣を見守りすること。長く会わないときは一度のぞく。自分の家だけ良ければいいという考えではいけないと思います。

■ 地域の絆を強くする活動を！

引っ越しして間がないので地域の方との親睦が深められるような行事に参加できたらいいのですが。古くから付き合いのある方々の中に入っていくのは難しいです。

皆さんが昔のように井戸端会議ができる雰囲気を持てると良い

「向こう三軒両隣」的な集落は将来も守っていきたいが、確実に人口も減少するだろうし、若者たちが定着できるような働く場所が今よりできることを望む。限界集落にならないように、高齢者を中心に若者たちが結婚してくれることを望みます。今のままでは将来不安でなりません。

地域全体が一つになれるような行事があるとよい。スポーツや文化祭のような楽しいものが良い。

住民同士がもっと参加できるイベントを多く行い、何か一つでも一人一人が参加できるようにしたいと思う。

住民の絆を深める為の行動を希望します。

地域の皆さんも親切で安心して生活しています。

富野地区全体が協力したほうがいいと思う。(志津野部落だけでなく全体で)

住民の絆を深めるには、スポーツ大会等の、大勢で行う行事を増やすと良いと思います。

地域行事、活動が多くて大変(清掃活動は必要)

みんなとふれあう活動をすることはいいことだと思います。でも、中にはいろいろなことに参加するのが苦手な人もいます。自分の時間を取られたくないです。

最近では自己主張する人が多くなり昔のような横のつながりが薄くなってきています。触れぬ神にたたりなしで注意する人もいなくなり自分は自分と勝手になっていく。そういう世の中で仕方が無いのかもしれませんが人と話すことに疲れを感じます。

富野地区 大運動会・盆踊り・花火大会

富野小・中学校に、富野の人みんな集まって遊びたい。

■ 高齢者がいきいき暮らせる富野に！

年をとってからの活動の場、気軽に参加出来、社会に貢献出来るような事があれば良い。

高齢者層を中心にカラーリング、グランドゴルフ、玉入れ等軽スポーツを月に1回くらい実施する。

私が居住している自治会では全体の24%が一人世帯(独居)となっており高齢者世帯が大半(一戸は40代の一人世帯)です。このような状況は今後さらに増加すると思います。元気な高齢者は出来る限り外出の機会を増やしてやることです。そこで高齢者のたまり場のようなところがあつたらどうかと思います。例えば100円でコーヒーが飲めておしゃべりができる。曜日を決めて月1~2回午前中のみ開館、出入り自由、強制しない。外に出て、人と話が出来る機会を提供する。このような企画が出来たらどうかと思います。

老人クラブ、ふれあいサロンと元気な人には出席しやすい行事が多くありますが、出席者は車に乗ってこれるような人ばかり。本当に手を差し伸べる必要がある人(体調が悪い人、高齢の人)への充実した福祉を望みます。

少子高齢化のため、お年寄りが気軽に参加できる活動を多く企画して欲しい。

住みよい地域にするために高齢者の事故防止などの勉強会を実施して欲しい。また高齢者が気軽に遊びに行ける様なたまり場を作って欲しい。

(老人のたまり場)集会場、広場で毎日ラジオ体操、都合の良い人はコーヒーでも飲みながら絆を深める。

高齢になり自家用車の運転が出来なくなり、富野ふれあいセンターで行事があっても行けなくなってしまう。そんな時、地域の歩いて行ける距離にある公民館を利用して何かが出来るといいかなあとと思います。

子供から高齢者まで自由に参加できるような会を数回各地区で行って欲しい(お茶、お話し会、軽スポーツ等)

富野で野菜を作っている方が富野で売れたらいいな。

富野地区内で高齢者や障害者対象の配食サービスや移送サービスの事業をやってほしい。現職をリタイアしたばかりの元気な高齢者にそのような事業に関わってもらえば第二の人生の生きがいにもなると思う。また、野菜や米作り等の励みになるように直売所の設置や喫茶、食事処等も地域で運営できるようになればと思う。

■ 転入者を受け入れ、人口増加！

県内外から一人でも多くの方に住んでもらいたい。そのために古くからの悪い習慣や偏見をなくしていきたい。

空家の活動、人口増加

富野地区によそから多くの人が住める場所を提供し、富野に若い人が来るようにする。

他地域から人が移り住んで下さるような富野を希望。また役員交代の折には、是非半分ずつ交替して、次に繋げてほしい。

保育園、小・中学校の他校との統合により、この地区から学校が無くなってしまうのではないかという不安。保育・教育機関が消滅すれば、益々若い世代が富野から転出し…。土地(住宅)の造成等で若い(20代・30代)夫婦が転入してくれる様政策を期待します。

人口の減少が目立ってきているので、使われていない農地等を宅地化して富野の人口を増やすといいと思う。

市に対しては、都会に行った子供達が帰って来たいと思うような魅力ある企業を誘致して欲しい。

新しく富野地区に入居しやすいように受け入れ体制の充実と役割の負担軽減が必要。

都市部から若い人材に住んでもらう為に、もっと勧誘して欲しい。

■ ふれあいセンターをもっと活用したい！

ふれあいセンターに憩いの場や、図書館のように子どもたちが集まって勉強が出来たりする場所があるといい。(なかなか市の図書館まで、交通が不便で子どもだけではいけないので)

ふれあいセンターというりっぱな施設があるので、子供や高齢者の交流会や娯楽活動、家族の健康を守る為の料理講習や健康講話などの実施をされると、地域の方々の交流も広がるのでは。

住民(みんな)が、気軽に参加出来る様、参加したくなる様にふれあいだよりのページを増し、みんなが興味を持ち参加意欲が沸くように内容をきめ細かく掲載すると良い

年に一度文化祭を行って頂くのを願います。

今は自分で車で出かけられますが、もっと年を取って運転が出来なくなった時の事を考えると不安になります。

集る場所があると一人になった時も孤独を感じずに済むと思います。

立派なふれあいセンターがありますので、もう少しいろいろなことに活用されるといいと思います。

寄せ植え、餅花、門松作りなどの行事には参加したいです。体育の方はちょっと苦手。

地域の人と誘いあっていくといいと思う。

運転の出来ない高齢者にとってはふれあいセンターまで足が運べないのが現状です。高齢者のたまり場づくりも、交通の便も考えてほしい。

富野ふれあいセンターに家ばかりにいる老人たちを車に乗れる若い人たちが交代でお誘いし、週1回くらい、コーヒーを飲んだり、楽しくおしゃべりなどしたいと思います。コーヒー代一人100円くらい頂いてはいいかでしょう。楽しみにしています。

「とみのの祭り」を行う。時期は8月のお盆の週。老若男女が一堂に集まる「盆踊り」「真夏のイベント」をやる。ふるさとに帰省する若者たちも、地区外からの人をいかに呼ぶかである。

「まちカフェ」の開催。ふれあいセンターにもっと多くの人が気軽に集まれる場を提供する。(カラオケ、絵手紙、民謡、お茶会、懐メロコーラスなど)

「介護相談会」を行う。市役所まで足を運ばなくても近くのふれあいセンターで気軽に介護について相談できる場所を設ける。

ふれあいセンターが出来前は東部支所があり車に乗れない者にとっては本当にありがたいと思っていましたが、とても不便になりました。これから高齢になるにつれて不安です。

富野ふれあいセンターをもっと利用出来る様になると良いと思う。東部支所のように便利な機能を残してもらえると良かったです。ちょっとした休憩所があって、お茶やコーヒーが飲めたり出来れば高齢者の方々が集ってお話が出来たりするのでしょうか。また、小さい子供達を集めたいのなら、映画会(クリスマス会も)等企画して頂けると嬉しいです。

認知症予防のためにもふれあいセンターにていろいろな催しをしてほしい。健康体操、料理講習、学習講座、ウォーキング大会、軽いマラソン大会。

富野地区は大きなショッピングセンターや娯楽施設等が充実しているわけではないですが、自然に囲まれたのどかな環境が魅力だと思います。子供が少なくなり、高齢化も進んでいくわけですが、地域活性化の為に自分ができることをやっていきたいですし、具体的に何が出来るか考えています。個人的にはふれあいセンターでの講義や教室を増やして、もっともっと皆が利用しやすい身近な場所になって欲しいと思いますし、それが関わりのきっかけにもなると思います。

■ 地域みんなで子育て支援！子育て環境の整備を！

交通安全に立つ時間を作るのは、子どもたちの為に大切なこととは分かっているのですが、働く世代には厳しいものがあり、勝手なことかと思われると思いますが、多世代交流、地域で子育てにもなりますし、申し訳ないのですが、子育ての終わられた先輩の助けを頂きたい、協力をお願いしたい。

志津野は学校まで遠く山道が多くて、大変心配です。子供の数が減ってきているため、何か通学手段を考えて頂けるとありがたいです。

子供がいる世帯が少なく残念です。学校等存続に不安を覚えます。若者が興味を持つ様な地域を作れる様努力が必要だと思います。

子供を安全に通学させるために通学路、通学方法を考えてほしい。万が一犯罪等に巻き込まれても防犯ベルや叫び声も聞こえない。とても子供たちだけでは通わせられません。付き添いの大人の増員や、スクールバスの検討をして欲しい。

小学生の通学が不安。行き帰りに大人の見守りが必要。

最近の子供たちが少々怖いです。

富野地区に公園が欲しいです。

公園などの放課後や休日に子供たちが安心して集まって外で遊べる場所があると良い。お年寄りや犬の散歩コース近くにあり、地域の目が届くようなところだとより良い。
保育園から中学校まで同じメンバーなので他の地域との交流も積極的に出来ると良い。

今はまだ子供が小さいですが、小中学生になった時に富野小、富野中へ通わせるか悩んでいます。理由は①山ばかりで通学に不便、道が暗い。②防犯意識の低さ。③学童の情報が入らない。④少人数制で閉鎖的。

子供たちが通いやすい道作り(通学路)

子供が大きくなった時に高校へ通うのにバスが無いので不便だと思う。1時間に1本でも、通学時間の間でもバスがあればと思う。

子供の数の減少。富野小学校は残してほしい。中学校は上之保、武儀との合併も考える必要がある。部活動を成立させたい。

小学校までの距離、武儀のようにバスを出したりして欲しい。歩道も途切れていて危ない。

富野小学校に安心して通学出来る道を歩道を是非して欲しい。老人に優しい、笑顔で挨拶しあえる穏やかな地区にして欲しい。

子供達の心の教育を優先し犯罪の無い社会を作って欲しい。若いお父さんお母さんにも子供達に思いやりの心、我慢のできる力を教育できる話し合いの場があるといいと思います。

近くに子供がお菓子も買う所が無くかわいそうだ。昔はみんなでお菓子屋さんを集り外でもよく遊んだ。そういった場所があると今の子供達ももっとのびのびと外で元気に遊ぶようになると思う。

子供の数が減り武儀方面は中学校が合併する。富野もいずれは同じように小中学校の合併話が出る気がするが、クラス替えのない9年間ならばいっそ富野小中学校を1つにしていればいいのではないかと考えます。

自然豊かで伸び伸びと暮らせる所が魅力だが、子供や若者が少なく、高齢化が心配である。また、武儀地区、上之保地区の中学校が合併され、富野だけ取り残された感じもある。小中一貫校にする等対策が必要だと思う。

■ 住環境を整備して、安心・安全な富野に！

暗いので街灯を増やしてもらいたい。

街灯を増やして欲しい。電柱にLEDをつけて欲しい。自治会長の負担が大きすぎる。自治会いじめにあうと嫌なのであまり答えられない。

楽しく住み良い地域にするためには住民の絆が一番大切なので、楽しく語りあえるような場を作って頂きたいと思います。ふれあいサロンも参加させていただいておりますが、開催場所が遠いと大変ですので近くのセンターであると良いと思います。救急の場合病院まで遠いので近くのセンターにAEDを設置して頂きたいと思います。

関市の危機管理課も今のままで良いと思っている上、農林課も木一本切るのに小規模開発もいやがり、農業を守る為の規制が多く、後継者が住む所も出来ず、市街地に出たり、受け入れが整っている富加町や加茂野、美濃市インター付近へ出てしまいました。どうしようもありません。ここがいやなら出ていけば良いだけです。その考え方の方が楽です。(・費用対効果と言う最高の逃げ言葉・自治会で要望書として出ないと動けませんの一点逃げ)

災害時に向けて日赤などで炊き出し訓練を行っておられると思いますが、地域全体で日頃から意思疎通を図り、具体的な合同訓練等を望みます。

津保川河川災害洪水対策(堤防の嵩上げ)(河川幅の拡大)

道路の整備

(農道なども普通車が通れる位の幅計画等)

軽犯罪を無くするため、歩道に照明など増加希望する。

(道路から離れた場所、暗い所など設置)

歩道について、特に神野本郷～下日立間ですが、山・竹藪があり、通学する子供達にとって危険の様に思います。鉄柱を立てて鎖の様な物がしてありますが、竹がすぐたれ下がり雪とか雨の時は意味が無いように感じます。木とか竹を毎年切って頂いた方がいい様に思います。

山林の管理(個人持ち含む)がいきとどいて無いので草木は生え放題、木も伸び放題で、日が当らなくなるとトラブルもある。

年々山の木が伸び家に日が当たる時間が短くなっています。山の管理もしっかりと行っていただきたい。畑のあるところは農作物にも影響します。自分の代になっても責任をもって手入れなどしていただきたい。

山や竹林など人が手入れしないと荒れてくる。その影響で家や畑に日が当たらない。特に冬は日照時間が短く年々短くなっています。そうなれば暖房も使わないといられない。持ち主が木を切って手入れしてくれれば大変助かる。そうすることで、エコや保全にもつながるのではないかと期待する。

交通の便が悪いので過疎化が進むのは仕方ありませんが、空き家になってしまった家が放置されるのは色々と良くないので、地域で管理して、持ち主に今後どうするのか等コンタクトを取って欲しい。

近年集中豪雨が増加しており、山沿いや川沿いに住宅が多い事より、土石災害、浸水被害に対する施設の整備。

防犯、防災活動の強化、防災マップによる危険個所の早期改善

■ 地域の役員の仕事や行事を見直して持続可能なまちづくりを！

自治会行事の負担をとにかく軽減して欲しい。住民の絆を深める前に家族の絆を深める時間が無い。

自治会内で新しく入ってきた人に役をやって欲しいばかりなので、負担が大きいと思っています。田舎は年寄りばかりで役も多くて大変なイメージもあります。早く輪に入ってもらいたいのも分かりますが、帰って来たい、移住したい人が少なくなるような気がします。

個々の負担を少なくし、若い人の住みやすいまちにする。その為に、老若男女世代を超えて役割分担をし、明るく楽しい富野にすべく、みんなが一致団結しなければならない時ではないでしょうか？

同じ人が何回も委員をやらなくてもいいことが希望です。

富野は自然に恵まれていて、子育てをするには本当に良い所だと思います。住人もボランティア精神があり、様々な形で地域を支えて下さっていてありがたいと思います。ただ、自治会の事は一家で一人代表が出るので女性の意見が反映されにくいと思います。女性の意見には決定権が無いのが残念です。以前は婦人会組織もありましたが今はありません。地域委員会に対する要望としましては、富野まちカフェ(関まちカフェの富野版)を開いて、幅広い意見(特に女性の意見)を取り入れて欲しいし、地域委員会にも女性メンバーを幅広くつり、半分は入れて欲しいと思います。

自治会行事を減らす

高齢者が増え続けているのでいろいろな行事を作ってやる時その行事の為に役員となり動く人がいる事迄考えると行事をやみくもに増やせば役員の負担が多くなるので行事を増やすばかりを考えないで欲しい。高齢になると外出もためらう様になり身なりを整えるのも大変です。

昔ながらの古い事業は無くして欲しい(おひまなど)。

若い世代は市外県外へ出勤する世帯が多く感じます。朝早く夜遅い日々の中で地域の活動にしばられる時間が多くあるとつらいです。アンケートの項目にもありますが、本当に必要なことにしぼった取り組みをする必要があると思います。

「昔は当たり前」に・・・と言った考えは早急になくすべきです。「消防がイヤ」「自治会が面倒」と言う理由で里離れた人の話をよく聞きます。人がいなくなってからでは遅いです。

活動など若い世代に負担がかからない様見直す事も必要と思います。若い世代の方の意見も取りいれると良いと思います。

「誰かがやってくれる」でなく、「私は何を担うのか」「何を担えるのか」で役割分担しないと守っていけない。高齢者として主役である。

自治会、学校と人が少ないのにいろいろ役割が多すぎる。

市も学校も、自治会も、何かにつけて役が多すぎる。何もかも1年交替でなく、1つの役を3年位受けてもらいたい。そのかわり、他の役は免除のようにしてはいかがでしょう。シンプルかつ、常に向上出来る体制づくりを希望します。

地元就職する所が無く、出身の大学で職を探す若者が多い中、地元にいるとどうしても自治会の付き合い、消防活動と役割が多すぎて、出来るだけ面倒な付き合いなど無い所に住みたいと思う事は現状であると思う。特に消防団加入が職業柄出来ない人もいる事を頭に入れて、若者が離れない地域にする事が大切であると思う。

こちらの地域は役員(PTA、子供会、自治会など)や消防団の仕事があり負担が大きく、自分の子供達が家を離れ自活するようになって役の仕事の事を考えると、実家へ戻ってきて欲しいとは言えないなどという声がよく聞かれます。また、それらの役の仕事は強制的な雰囲気の中で事情があつて出られない時など気軽に休みづらい雰囲気だと知りました。役が重なる方は大変だと感じました。

自治会長を長くやってもらえる方を選ぶと良い。自治会長が年齢によってやっている、該当者がいなくなり問題が起きています。

自治会でいろいろな役が多すぎる。簡略化してもいいのでは？各自治会によって意見も違うので富野地区全体による行事は選択の場があってもいいのでは？（体育関係等）

若年世代の人口が減少し60歳の定年までの間に自治会活動及び行事に時間を取られることは若者たちの負担になります。60歳以上の方でもまだまだ十分活力ある方に自治会活動、地域活動を支援願いたい。

■ 消防団の存続を考えよう！

消防団の人数を減らす。酒を飲みながらの活動をなくす。OBが差し入れて酒をもっていけない。消防団詰所で賭け事をしない。

消防団に入りたくない

平日ほぼ一人で子育てをし、頼れるのは夫だけだが、その夫が消防団に加入しなければならず（人数が少ない為）、その活動に参加する為に益々家に居てもらえる時間が減ってしまい、正直きついです。消防に入ると負担が大きすぎです。一度入ると誰かを見つけるまでぬけないというのはよく分かりません。富野はただでさえ人数少ないのに新しい人が入るまでいつまで待てばいいんですか。

消防団など無くして欲しいです。

消防団員の確保が難しくなっているため、消防団を解散し、行政での対応に切り替える事が必要。

■ 地域コミュニティの存続の為にみんなで知恵を出し合おう！

自治会として、もう戸数も少なくなり、次世代も流出してしまい、5年先、10年先が不安です。自治会が成り立たなくなるギリギリにきていると思います。住民一人一人が真剣にこの事について考えていかなければならない時が来ていると思う。

気楽に話し合える場などあればいいと思います。若い人が富野を離れてしまっているのも、もっと若い人達が住みやすくすればと思う。

富野地域に医院があると良い。富野地区の保育園、小学校、中学校が廃校にならないように若い人が住みやすい地になればと思います。住みよい地域にするには老人ではなく、若い人の意見を聞いてください。

地域の特産品を考え特化して作る。

本城山を整備し、高沢観音にかけて山登り、ウォーキングの場として地域、その他に健康づくりの場所として広め、何か花木を植え名所とする。

高齢者への対応もちろん大切であるが、子供が増える事、子育て支援が大切です。

若者が流出し、高齢化が進んでいる。あと10年したら、自治会のあり方も一変し、出て来れる人も限られてくる。その対応として①若者に魅力のある働く場のある地域にする事。②富野全体よりも「近所のコミュニケーションを図る自治会の活動をする事」を考える

何か特徴のある富野がいいなと思います。例えば、老人に優しいとか防災に力を入れているとか、子供が暮らしやすいとか・・・。

高齢者、病人対応は、田舎に住む人に対する処遇をみんなで考え行動出来る事が幸せのまちづくりの一つだと思います。

働く場所もない。何も無いことが魅力なのでしょうか。

地域の情報はインターネットで配信して欲しい。

若者たちが生まれ育った富野を離れて行ってしまわない様住民皆で考えたらと思いますが、難しい事ではあると思います。

祭りなど市街地でのイベントから取り残されていると思います。また、関市の他の地区の住民の中には富野地区を知らない人も多く、住みよい地域の前に富野地区をより多くの人達に知ってもらえる事も考えたらどうか。

富野に住みたいと思わせる魅力を何か考えた方がいいと思う。

県道に道の駅等を新設。地域住民だけでなく、あらゆる人が立ち寄れる場の提供が良いと思われる。言いかえれば、市街地でない環境である野山を十分活用できるアイディア、提案を何らか具現化し、地域活性化を図りたい。

若い世代が意見を言える環境づくりが必要だと思う。高齢者だけが世帯に残るのではなく若い世代にも残ってこれる、もしくは若者が戻ってこれる等、子育て支援、雇用等が充実すれば人口も増えて活気ある地区になると思う。

農業であっても、会社化されて、雇われて働くという形なら働いていてもいいなと思う人は増えるのではないかと思います。多くの農地があるのにもったいない。農業での雇用を増やせば人口も増えるのではないかな。そのくらいしか期待できると思うことはありません。

意識を変える事が先。みんなが昔の富野は良かったが、今やこの地区は全く駄目。自ら汗をかく人(定年後の人)をつくる。市役所、農協、県職員の定年退職後した方を中枢にしない限り出来ることはないと思う。地域委員会の皆様がしっかりした農業組織を作る以外に無いのではないかな。

富野は高齢者が多くなり自治会活動も困難になりつつあり活動できることには限界があります。市が地域に入って、きめ細やかな行政サービスをしていただきたい。

未婚の男女が多い。対策が必要。

人口減少を無くすため、独身者を少なくするため、結婚相談等行い、跡継ぎが外に行かない様に親が子に言い聞かせる等しないと、人口が減り特定の役員が責任を持たされてこまる時がある。住みよい地域は皆が協力し合い、妥協点をみつけていかなければ出来ないと思う。

私は富野で生活していますが、自分が子供のころは手に職を持つか大学に行っていっていいところに就職するか、と言われてきました。私は親が自営でしたし、学力もなく家に残る道しかなく今に至っていますが、一番大切なのは、今一度、今の自分を振り返り、本当に大切なものは何か？人任せではなくまずは自分たちの力でやってみる。すべてを国や人に頼っていては何も早く変わっていかないとはいいます。今の地区についてを一人一人がしっかり考えなおしてはどうでしょう？

これから益々高齢化が進みます。老若男女の交流を一番に、より多くの住民の意見を聴く手段を考え、良いと思う政策はどんどん押し進めるべきです。

環境に関しては、富野特有の里山をいかに整備し、特色ある里山にしていくことが出来るか考える必要があると思います。地方創生といってもやはり富野の住民が自ら考え抜いて時代に合ったまちづくりをしていくべきです。

世界から注目される人は沢山いるのに、地域は人材資源を上手く使えていない。彼らに沢山のコンテンツを出してもらい、斬新にまとめて発信を！世界に向けて欲しい。

富野地域が広すぎて、他の富野の地区の事が全然分かりません。

現在富野に住んでいますが、仕事や遊びに行くのも富野外なのでほとんどいない状態です。意見を言える程今の富野の事を知らないと思います。

■ このアンケートや、地域委員会準備委員会に関すること

アンケートは年齢の幅があり、高齢者には今までの困難やこうなって欲しい等簡単な内容を伺い、これからの年代(若い方)には、多くのアンケート対象を取り、一層のまち作りに働き掛けて頂きたいです。

アンケートに示された諸点はいずれも必要、重要な問題。これらの内、選択された問題を如何に実行するかが最も重要と考えます。

息子、娘が富野地区を出ていくのはなぜでしょう？まずそこから出発です。
アンケート結果を配布してください。

地域活動のリーダーシップをとって欲しい。

ここからの世の中を担う若い人の意見を聞くのが良いと思います。

予算執行権限があるのであれば、委員長、役員の選出は透明性を担保すべき。富野支部役員決めみたいに密室で決定してはいけません。

役員の任期・種類を、このアンケートにでも明示すべきだった。誰も知らんし興味ない。むしろほとんどの住民が望んでも無いのに出来てしまった地域委員会の方から、出来る前と後で何か変わって、どんなメリットがあるか言わないとだめだし、役員も言えないとだめ。決して役所あがりの人の自己満足の場所にしてはいけません。

委員は若者を中心に選ぶ

若者が流出せず、定住出来るような地域がどうしたらできるかという設問が欲しかった。
定年退職者が中心になっていては、目先だけで継続的な本当に必要な事業が展開できない。

まちづくり組織とは何か、どのような目的があるのか、どんな活動をしているのかなど情報の提供をする。

健康推進委員、日赤の人選、活動の内容について良く分かりません。市の方針で1人1ボランティアなら、どちらか一方で各地域一人でもいいと思います。

地域住民の活動(自治会活動も含めて)はできる限り参加したくない。無駄な活動が多いし、加入が強制的なことが嫌。そもそもこのようなアンケートも自治会を使わないでほしい。みられるのではないかと不安です。

とにかく地域の人口が減っているのに、設問の多くが、”どんな活動が・・・”となっている。地域に住む人の負担を減らさないと若者も出ていってしまうのに、これ以上負担を負担を増やすことを考えていることが、そもそも無理がある。大都会の理屈を過疎地に持ち込んでも通用しない。だからアンケートそのものがひな形ありきに感じてしまう。富野の特性を考慮してアンケートをとるのであれば、まずここでの生活の苦しさを問うべきだ。それが分からなければ地域委員会など価値が無い。

■ その他

町には無いような年中行事や月行事が有ってちょっと面倒な時もありますが、自然環境を保つ為には必要不可欠なので欠かさず参加しています。おかげさまで緑いっぱいの自然が残されていてとても住みよい所です。私は大好きです。行事の後は皆さんでお茶しています。今のままで満足しています。富野大好きです。

自由に行きたいところに行きたい

皆様にお世話になっているので、自分のことは自分で出来るように頑張ります。

どの住民も「富野住民」ということに自信と誇りを持ってよりよく生活できるように意識してもらいたい。

現在の通りで良い

市議会に複数の議員を送るべきだと思います。自治会で票わりをして臨めば可能ではないでしょうか。市民税を納めていてもその恩恵が(市街地や他地区に比べて)あまり感じられないように思います。議会に代表者を2名送り富野の人々の意見を反映できるといいですね。

誰にしても市会議員が富野にいなればだめだと思う。もう少し中間の大人が頑張ってもらいたい。選挙に行く事が大事。それはこれからの子供たちの為だと思う。

選挙の投票所が1ヶ所になると高齢者は棄権するのではないかな？バスを出すようなことも聞いたが、それでは満足できません。今までのようにやってほしいです。

生まれた土地であり、愛着もあります。自然を大切にしつつ開拓化を進めて欲しいです。

何よりも豊かな自然を残す事。豊かな緑、小鳥のさえずり、清流のせせらぎ等貴重な財産を守る事。

問29 10年後の富野はどうあってほしいですか

☆ 誰もが安全で安心して暮らせるまち

安全、安心して住める富野であって欲しいです。

安心安全に暮らせるまちであって欲しいです。

みんなが安心して暮らせる地区であって欲しいです。

平和で安心して暮らせる地区であって欲しい。

安全で住みよい地域になって欲しいです。

のどかでのんびりした感じを保ちつつ安全で安心して暮らせるまちであって欲しい。

老人子供が安心して生活等が出来る様になります。

子供達が安心・安全であるように。

子供も老人も安心して暮らせる地域であって欲しいです。

安全安心な生活環境の中、若い人、子供達が定着できる地域。

子供から老人までが幸せに暮らせるような地区になって欲しいです。

10年後は高齢になっています。今もなお高齢者は多いです。活気ある富野になって、心地よく笑顔の出る様な富野地区になって安心な気持ちで過ごすことが出来たら最高ですね。

高齢者でも安心して暮らせる仕組みが出来てほしい。

☆ 人口増加！子どもや若者が増え元気なまち

若い人が多くいてほしい

若い世代の増加

若い人たちが多くいて明るく活気のある地区になっていること。

子供の数が増えているとうれしいです。

子供が沢山いる元気な町であって欲しいです。

子供が少なくなってきたので、10年後には増えて欲しいと思います。

富野小、中学校に通学する学童、生徒が今よりも増える事を期待しています。

このままでいいが、若い人を増やすことが第一。

今よりも多い人口であって欲しい。そして活気があって欲しい。

富野地区に人口増加

人が減らない富野

人口も増えて住んで良かったと思える所。

人口が増え、子供の笑い声が聞こえる、そんな明るい富野であって欲しい。

過疎化が進まないでいて欲しいと思う。

限界集落にならないことを祈りたい

人口の維持が出来る事。

人口減少をなくし、20～30年前の様に活気のある地区でありたい。

若者が増え、子供が増え、以前のように賑やかな子供がいるところになればよい。少しでも高齢化に歯止めがかかればうれしい。

人口の増加。小中学校の単独維持

保育園、小中学校が存続して欲しい。廃校になりませんように。

富野保育園、小学校、中学校が今のまま残って欲しい。他の学校と合併しないでほしい。

☆ 鳥獣害被害のない、自然豊かなまち

鳥獣被害がゼロに！

鳥獣対策 田・畑がきれいに出来るようになって欲しい。

鳥獣害対策が本当にしっかり出来る富野地区であってほしい。

獣害、耕作放棄地管理が出来ているような地区であってほしい。

ハクビシン、ヌートリア、猪、猿等の自然の多いけもの楽園としてこれからも何もしなく今を守って欲しい。人がいなくなればもっと自然が守られます。人が少なくなる事だと思います。ここがいやなら出ていけば良い。(友人も子もみな)私はいや、出る。

「誇ることの出来る故郷」そのためには、少なくとも獣害の無い「のどかな農村」＝高齢者が希望を持って農業にいきしむ事の出来る環境。

子どもから大人まで安心して、自然と向き合って暮らせたらいと思う。

自然環境の中で孫達が末永く暮らせたらいと思います。

今のまま自然があり、静かで安心出来る地区であって欲しいです

自然が守られ、子供達の声が聞こえる地域であって欲しいです。

環境開発の為に自然が破壊され、自然が無くならないように自然を守る。

山紫水明の農村村であって欲しい。

美しい富野であって欲しい。

健康に関して一番大切な水と空気の新鮮な富野の環境をいつまでも守って頂きたい。

山は緑、きれいな津保川が流れ、そこに育つ鮎をもう一度食べてみたい。

昔のような美しい山や田園地帯を希望する。定年後の(65歳～80歳)の人々をしっかりとつかまえてやる以外に早く出来るものはない。

一度は行ってみたい、住んでみたい田舎町と言われる様になって欲しい

子供が自然いっぱいの中でのびのび暮らせる地区であって欲しい。

近くに川や山があり、自然がたくさんあるまちです。それをきれいに維持して欲しい。

もっと車が少なくて田舎になっていると良い

☆ みんなで助け合って暮らせるまち

お互い助け合って暮らしていけるまちであるといいです。

もっと高齢化が進みますので高齢者の支援活動の充実

個人の負担が軽くなってほしい

若い人たちが、富野に住んで「楽しい」と思ってもらえる様な地域であって欲しい。そのためにも、行事の見直しや、簡素化して、無理の無い形で、地域の活動に参加できる様、みんなで考えていきたいと思えます。

人が少なくなり、自治会、消防、学校、その他、役割が多く負担になる。やる事は構いませんが、仕事が忙しい中、あれもこれも回ってくると大変なので、その辺をしっかりと改善し、いろんな人が住みやすい地域になればと思います。

年寄りが楽しく集える明るい富野を願います。

歩いて行ける所にサロンみたいな所があって皆と話したり運転が出来たりしたらいいなと思います。

子供や若い人が増え、負担を分け合えるようになるといい。また、子供達が集まって遊べる所があるといい。

いつ、どこで、誰とでも話の出来る社会になっていれればいいと思う。

病院等通院の時、家族に頼まなくても行ける様になっているといいと思う。

世代がいろいろでも仲良く近所さんと楽しく暮らせたらいいいと思います。

今のようにお互いが顔見知りで、困ったことがあれば助け合える地区であって欲しいです。

若い世代が増え、どの世代も住み易く協力し合える地域になっていて欲しいです。

慣習、前例にとらわれない時代の流れに沿った考え方を具申できる世代交流。

子供から高齢者まで助け合い、声かけの出来る活気のある地域になって欲しい。

高齢者ばかりの地区が多くなってきていると思うので、近所とのかかわりを持ってみんなで助け合って生活できるようになっているといいかな。

高齢化すると思うので近所の声掛けとか一人にしない事が大事だと思う。

10年後はより人口も減り、高齢化も進んでいると思いますが、地域で協力しあって生活していけたらと思います。

あまり、頭のいい人ばかりでなく社交性を大切に若いうちに人として感謝の気持ちの持てる人が多く、自分だけでなく、たった一人の人でも助ける事ができる人の集まりを期待します。

高齢になった時、買い物や医者に行くとき、運転してくれる人など若い人たちと気軽に話せてお願いできるような人間関係ができていれればいい。

子供が多く地域の人々が皆互いに支え合える生活の場であって欲しい。

今も仲の良い人々とずっと暮らせるような地区になって欲しい。

顔見知りの人ばかりの場所であって欲しい。知らない人がいない地区であって欲しい。

10年後まで生きれる生活をまずどうするか。誰でも話し合いが出来る、年を取っても地域全体の見守りが出来る富野であって欲しいが10年後では人生リタイヤだと思います。

2・3世帯同居の家族が増えるといいです。

家族の笑顔が見れる、身近に言葉がかわせる人がいる、助け合える、そんな所になって欲しいです。

大人が子供に対し、富野、関市、岐阜県、日本国において生活することの意義、価値、誇りを胸を張って伝えられる地区になるといい。誰が田畑を作り、水路を作り、道を作り人が住める場所にしたのか、その人々が今どこに眠っているのか、感謝できるようにすべきだ。

小・中学校の中に、老人(高齢者)とかが同居できる活動施設に。

☆ いきいきと暮らせるまち

明るい活気のある富野を夢見ています。

とにかく誰でもいきいきとした姿が常に見れるような富野であってほしい。

明るい富野地区になって欲しい。

子供も高齢者も一緒に笑顔で楽しく生活できる場所であって欲しい。

皆様が集って話が出来てふれあいセンターをもっと利用して交流を図れるようにする

平均寿命と健康寿命(日常生活が制限されことなく、生活できる年齢)の差は、男で9年、女で12年と言われています。この差を少しでも縮めて寝たきりにならない「ピンピン、コロリ」に近付くような地域になって欲しいと思います。

お年寄りが元気でいきいきして畑作りをしていて欲しい。施設に入られるお年寄りが多くなり、そうならない様脳も体も健康であって欲しい。その為に地域で健康づくり、ボケ防止の取り組みがあると良い。でも一番の原因は家族の接し方だと思う。

随分高齢化が進みます。地域ごとに健康体操などに参加して元気な高齢者が多く、ご近所さん同士助け合いながら生活できるといいですね。(健康寿命を延ばす)

みんなが健康で暮らせる地区であればいい。

休日健康であれば体を動かす。スポーツ等自由参加で開催できるシステムを作る。

活気ある地区になっていて欲しいです。

高齢者が運動できる公園が近くにあれば大変素晴らしいと思います。

安心して子育て出来る、高齢者も行事に参加できる、若者が働く場所がある、皆が生活しやすい富野であって欲しいと思います。

各地区に公園があって、花壇があって色々な世代の住民が集まるスペースがあるといいです。中池公園のように大人も楽しめる健康器具が外にあるといいですね。

何かお金を生む事業が出来ているといいと思う。そこに定年後の生きがいを見つけて、元気に働いていけたらいい。

生きているかな・・・

10年後はヨボヨボになっているよ。

☆ 買物や通学、通院に便利なまち

10年後は、富野地区にも診療所等があって欲しいです。

医療機関、スーパーなどが出来、市内まで出て行かなくても日常生活を送れるといい。

近所にスーパーや医者等があって、もっと活気のある富野地区になってほしいと思います。

歩いて行ける所にスーパーがあるといい。

運転が出来ないけれど、医者や買い物に行きたい。少しの費用で行けるようにして欲しい。

ショッピングモールなど招致して明るい印象のまちに。買い物も便利で人口も増え地代も上がって言うことなし。

交通の便を良くしてほしい

もっと交通の便を良くして欲しい。

富野地区から岐阜まで電車で行けるように

次世代の若者たちが、子育てしやすい環境であって欲しい。(公共機関、バス等)

病院へのバス(送迎)が有り、高齢者の方が利用しやすい様に、買い物も近場で済まされる様になって欲しい。(年を取ったら住み続けるか今不安です)

大型店がないため、日常生活等地元で買い物が出来る様、移動販売車が巡回することを望みます。

住宅やアパートなど増えて、人口が増えて欲しい。スーパーやコンビニ、ホームセンターなど便利なお店があればいいと思います。

年配の方、車の運転が出来ない方にも関市内へ出かけやすいようになってほしい。住民がどんどん減っているので将来自分が暮らしていける環境であってほしい。

年を取って70歳80歳になると、車での病院、その他移動ができにくくなると思う。交通面での移動が出来やすい富野であって欲しいです。

もっと高齢になっても、買い物や病院へ通いやすいようバスが増えてくれると有りがたいと思います。

高齢化が進むと思います。互いに助け合う老人に優しい住みやすい(買い物、医者)への交通手段をお願いします。

関市内への交通の便がよくなって欲しい。富野全体が夜はとても暗いので、外灯を増やして明るくしてもらいたい。

アパート・マンション増。交通の便がよくなり、暮らしやすい地区になってるといいです

分譲住宅が建つくらい、生活環境が良い地域になれるとよい。

70, 80歳になり車の運転が出来なくなった時に買い物難民、医療難民にならないようにもっとデマンドバス等のことも考えてもらいたい。

せめて関市街へだけでも交通の便が向上して欲しい。

☆ 交流人口が増え、人が訪れたい、帰って来たい、暮らしたいまち

夏祭り等が楽しくてよその地区からも参加する人が沢山いるといいですね。

小さくても商業都市(町)と呼ばれる様な地域になって欲しいと思います。

住み良い、次世代に受け継がれる故郷であって欲しい。

一度出た人が戻りたくなる場所。

県外の人や地元の人も立ち寄れる設備の整った公園があったらいいなと思います。

他の地区から、人が集まってくる場所、お店があって欲しい。(今は孤立している)

上之保や武儀(ゆず、しいたけなど)地区の様に富野の特色を活かした元気な地区になって欲しいです。

今の子供たちが再び富野に戻ってくる、戻って来たいと思える富野地区になって欲しいと思います。

人が戻ってこられる地区であってほしい。

地域住民により今以上に活性化させ様々な地域から人々が訪れる所にしたい。

活気あふれる地区となり、人口増を望みたい。各地からの移住、移入者を迎えやすい土地柄であって欲しい。

どんな問題、課題に対しても個々の意識によりますが、環境が整備され綺麗で安心して住みやすく温かい人間関係であって欲しいです。他地域(広く全国)から移り住みたいと羨ましがられる富野を目指していきたいものです。

子供、若い世代の割合の増加。それによる飲食店やコンビニ、医療の充実。(空き家、古民家を活かしたパン屋、雑貨屋等の誘致)スローライフな農村。便利な農村。来てみたくなる農村。

進学などで他に住んでいても戻って来たいと思う富野になって欲しい。

子供が富野に生まれて育って良かったと思える事。

富野で育ち、結婚、出産し、戻って来ました。子供の頃、すれ違う人みんなに挨拶をしたり、沢山の地域の方に見守られ温かく育ってきたから子育てを富野でしたいと思いました。富野の良さ、昔から変わらずあって欲しいです。ただ人口が少なくなってしまう事(子供の学校は人数が少なくても学校は大丈夫か等)心配です。富野がずっと富野であって欲しいです。

子供たちが楽しく生活出来て、富野地区に自信が持てる様なまちづくり。

素晴らしい自然がある所だから、子供達が富野に住めるような地域づくりができて帰って来られる地区になればよいと思います。子供達の生活には住むのにとても良いところだと思います。

岐阜地域に隣接する中濃地域は岐阜県内において中心部分であるため、地域環境を活性化したい。産業、文化等あらゆる面で革新を図る。

過疎化、高齢化が少しでも止められると良いことだと思います。新しい人が移り住めるようになると良いと思います。

田舎だけど住みやすいと思える富野であって欲しいです。まだまだ元気なお年寄りにも特産品の生産、加工品作りなどで活躍してもらい、楽しく暮らせる富野があるとうれしいです。

少しでも若者が住みやすい、帰ってきやすい所にして欲しい。高齢化していく中で高齢者に目を向ける事も大切だが、富野離れをする若者にも目を向けるべきである。

富野に働く場所が出来、若い人が住めるようになること。

未開発の土地(志津野・小野)に流通センターを設置し日本の流通の中心地を作る。

観光地として関市には国宝が沢山ある。これらの神社・寺などをもっと宣伝し刃物の町と観光の町をつくりPRしたらどうか。

都会で、競争社会で疲れた人や、全国で退職した人達が、第二の人生を安心して謳歌出来る、仕組みがある、発展し続ける、精神面で豊かな交流のある地区、私は個人でずっと発信していきたい。

農業が経営継続できる経営形態が完成されて欲しい。

まだ今のままでは、若い人達が職を求めて都会へ出ていくばかりだと思います。農業にしろ、工場で働くにしろ、生活に不自由なく暮らしていけるだけの収入が得られる仕事が増えたら良いと考えています。

笑顔があふれる、他地区からモデル地区として注目される富野であって欲しいです。

この辺りには、働ける所がありません。単に10年後といわれても見当が付きません。若い人達が安心して働いて、収入が確保できる環境作りをして欲しいものです。

若い人たちが富野から巣立っていくのではなく、富野にとどまり、子供たちが増えもう少し活気があれば良いと思う。

子供達が、結婚しても外に出ても故郷はここだから、帰って来たい、いつでも帰って来られるという状態であってほしいです。保育園、小中学校が充実して欲しいです。

後から引っ越してきた人たちが受け入れてもらえるような閉鎖的でない地域であってほしい。

☆ 現状維持。今のままの富野であってほしい

引き続き住みやすい地域であって欲しい。

あまり大きく変わって欲しくない

現状維持

最低限現在の状況が維持されてる事を願っております。

全てにおいて現状維持

現状維持をお願いします。若い人が好んで住むような地域であって欲しい。

今のままであってほしい。(自然環境、人情など)

今のままの平和で幸せな地区で有ります様に

今の景観を大事にして欲しい。

現在より悪くならないでほしい

かわらないであって欲しい。

富野周辺は焼却、廃棄、養鶏、採石(土場)に囲まれています。今後も増え続けるのでは？

山も川も谷も今以上に自然の景色が残っているように願う。

保育園も小学校も中学校も残っていてほしい。

「祭り」や「一年の行事」「家庭の料理」がいつまでも残っていて欲しい。

26年の文化祭での中学生のコーラスに感動しました。すごく生き生きする姿をみて、老人にとって心がいやされました。これからも、子供のコーラスやソーラン等拝見できれば富野の活性化につながると思う。